

ZOIDS

40th ANNIVERSARY

FZ-001 LIGER ZERO PHOENIX LION/PHOENIX TYPE 1/72 SCALE

対象年齢15才以上

AZ-06

■取扱説明書■

「ゾイドは永久に進化し続ける金属生命体」

EVOLVING
ZOIC-ANDROIDS
ZOIDS 40TH ANNIVERSARY

商品紹介などはZOIDS40周年特設ページをチェック!!

www.takaratomy.co.jp/products/zoids40th/X(エックス)公式アカウント
「ZOIDS[公式]」をフォロー!
@zoids_official商品動画などは「タカラトミー公式ホビーチャンネル」をチェック!!
www.youtube.com/@TAKARATOMYHOBBY

株式会社 タカラトミー

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

タカラトミーでは「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意をはらって製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

タカラトミーグループお客様相談室 おかげ間違えのないようご注意ください

製品の修理などについては下記お客様相談室までお問い合わせください

0570-041031 電話受付時間 10~17時

月曜日~金曜日(土日・祝日を除く)

タカラトミーサポート 検索



本製品のお客様サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限ります。

(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

●たのしいタカラトミーの情報はインターネットで www.takaratomy.co.jpFZ-001
LIGER ZERO PHOENIXMOTORIZED MODEL
REQUIRES 2 LR03 ("AAA"SIZE) BATTERIES (NOT INCLUDED)
単4形アルカリ乾電池2本使用(電池は別売りです)この度は、タカラトミー「AZ-06 ライガーゼロフェニックス」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後は、必ず保管しておいてください。

※写真、イラストは実際の商品と多少異なる場合があります。※写真は、撮影用に一部彩色、加工をしています。

© TOMEY ©ShoPro

△ 注意 (ちゅうい)

- この商品は対象年齢15才以上です。小さなお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。誤って飲み込むなど思わぬ事故の危険がありますので小さなお子様には絶対に与えないでください。
- 尖っている部品があります。取り扱いには十分注意してください。
- 付属の武器で人をつく、たたく等の乱暴な遊びをしないでください。
- 関節などに指をはさまないようご注意ください。
- ぶつけたり、振り回すなどの乱暴な遊びをしないでください。
- 可動部のスキマには指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。
- 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- プラスチック袋などを頭から被ったり、顔を覆つたりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 思わぬ事故の恐れがありますので、ご使用後は3才未満のお子様の手の届かない所に保管してください。
- CAP (S) は絶対に耳や鼻などに入れないでください。

（使用上の注意）

- ご使用の前に取扱説明書をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。
『電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。』
- ・古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使わないでください。
- ・+（プラス・マイナス）を正しくセットしてください。
- ・遊んだ後は必ずスイッチを切り、電池をはずしてください。
- ・ショートさせたり、充電、分解、加熱、火の中に入れないでください。
- ・万一、電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。
皮膚や服に付いたときは水で洗ってください。
- ・廃棄するときは、自治体の廃棄物処理の指示に従ってください。
- 取り付け部を無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
- 本体をディスプレイする時は、本体が倒れる恐れがありますので不安定な場所にディスプレイしないでください。
- 本体を持ち運ぶ際は、頭部・脚・尻尾や取り付けた部品などを持たず、本体の胴体部をしっかりと持つて持ち運んでください。
- 製品の仕様上、可動させた際に色が移ったり、彩色部が剥がれたりする場合があります。その点につきましては予めご了承ください。
- 本製品を樹脂製の家具等の上に長時間置くと色が移ったり、貼り付いたりする場合があります。
- ニッパー・カッターなどの工具を使う時は注意してください。
- 包装材は、開封後すぐに捨ててください。

組み立てる前によくお読みください

・必ず説明書の組み立て順にそって必要な部品から切り離してください。
正常に動かず、破損等の原因になります。

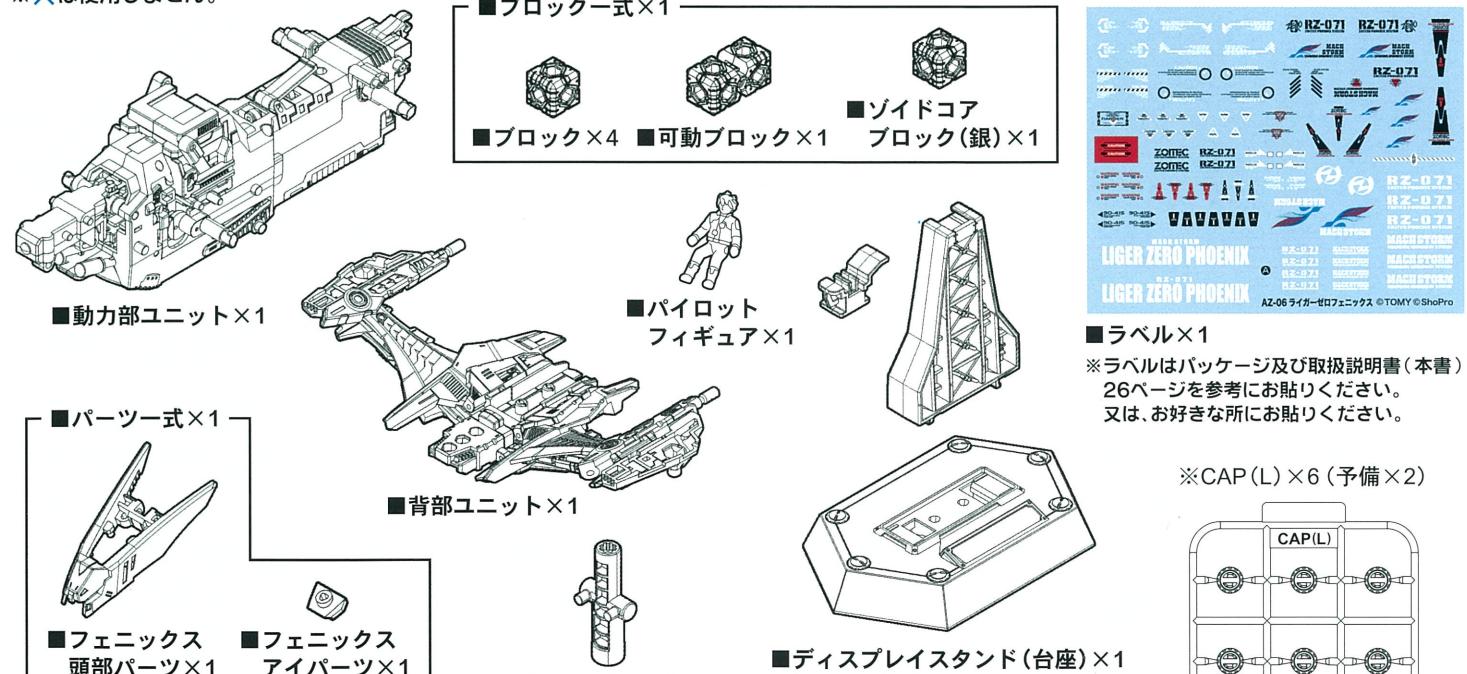
- ・組み立てる前に取扱説明書をよく読んでください。
- ・部品を切り離す時には、部品をよく確かめ、ニッパー・カッター等できれいに切り離してください。部品を切り離した枠（ランナー）は捨ててください。
- ・部品を加工する際に使用する、工具・刃物・塗料・接着剤等のご使用の際はそれぞれの取扱説明書をよく読んでから正しく使用してください。
- ・部品の中には、尖った部品がありますので気を付けて組み立ててください。

セット内容

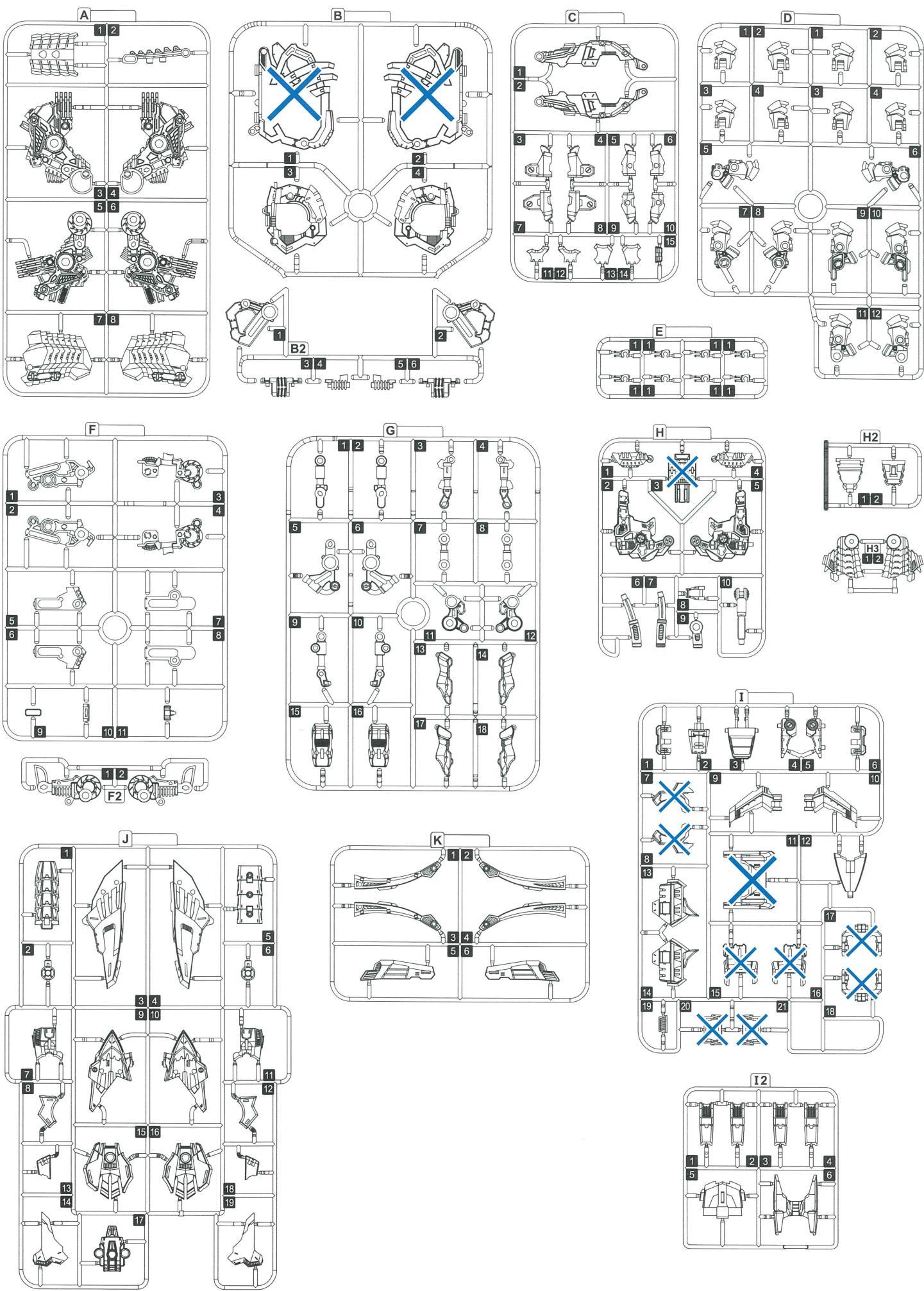
- | | | | | |
|---------------|------------|-------------------|-----------|--------------|
| ■ランナー(28)一式×1 | ■動力部ユニット×1 | ■パイロットフィギュア×1 | ■ブロック一式×1 | ■背部ユニット一式×1 |
| ■パーツ一式×1 | ■キャップレンチ×1 | ■ディスプレイスタンド(台座)×1 | ■ラベル×1 | ■取扱説明書(本書)×1 |

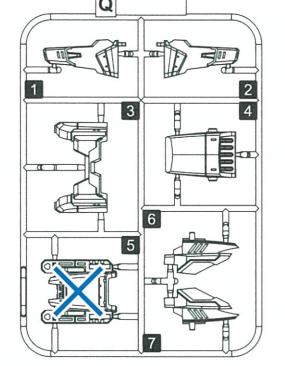
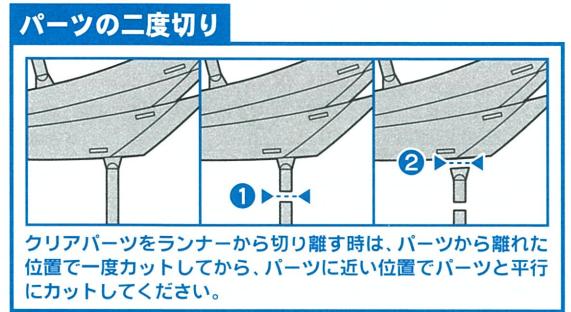
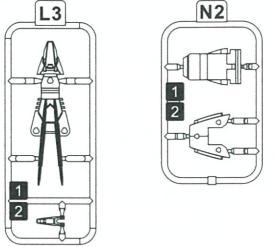
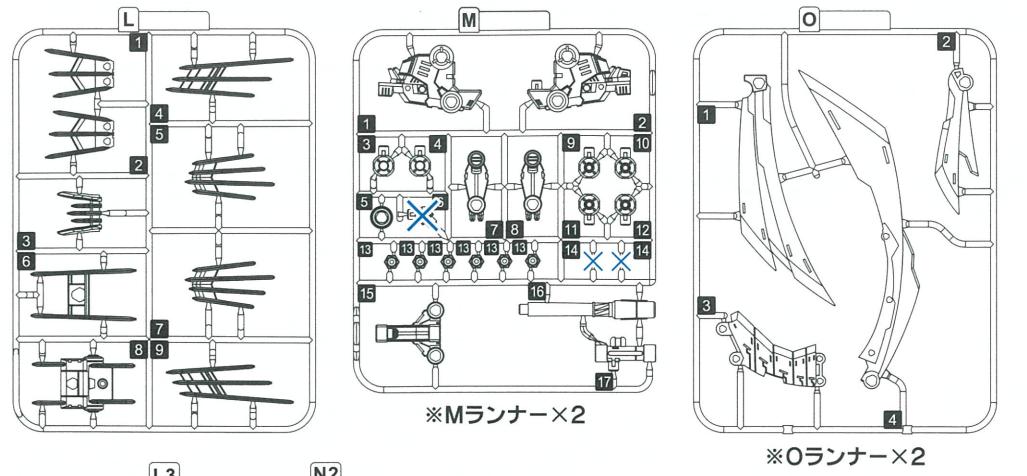
※ランナー図は実際の商品と多少異なる場合がありますが、パーツの位置は変わりません。組み立てには支障ありません。

※Xは使用しません。



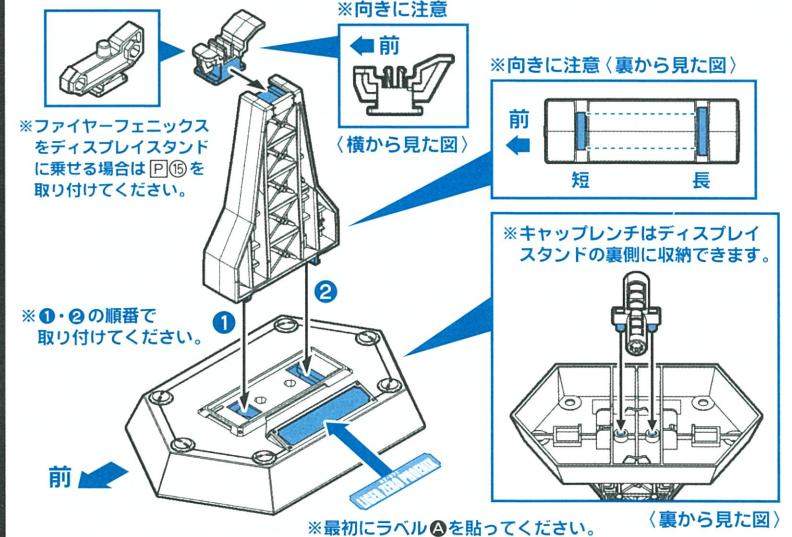
※ランナー図は実際の商品と多少異なる場合がありますが、パーツの位置は変わりません。組み立てには支障ありません。
※Xは使用しません。



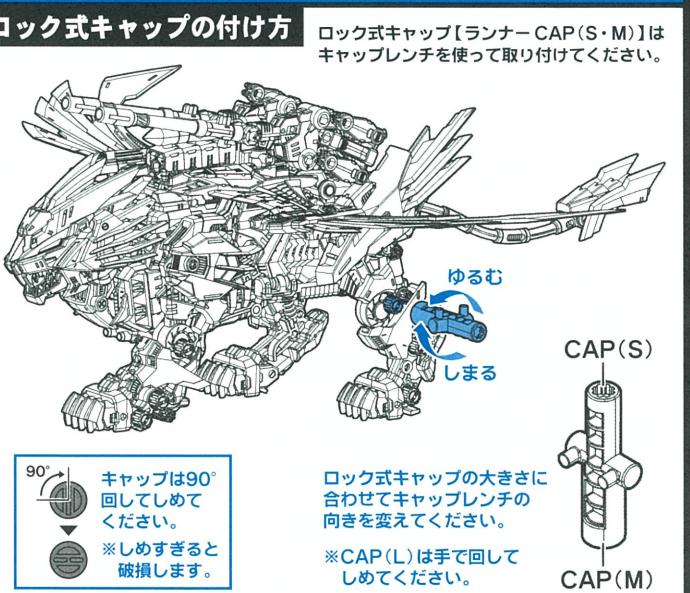


組み立てる前の準備【本体を組み立てる前に、以下を確認してください。】

ディスプレイスタンドの組み方

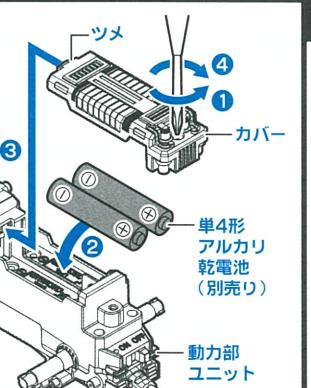


ロック式キャップの付け方

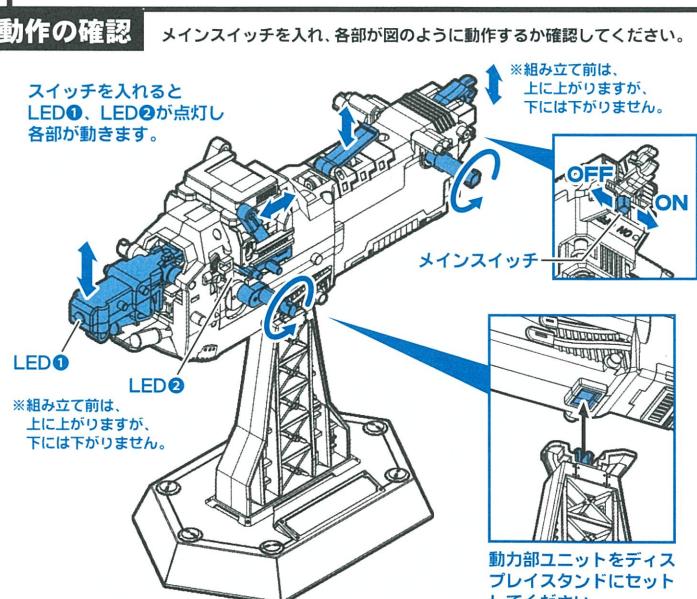


電池の入れ方 <動力部ユニット>

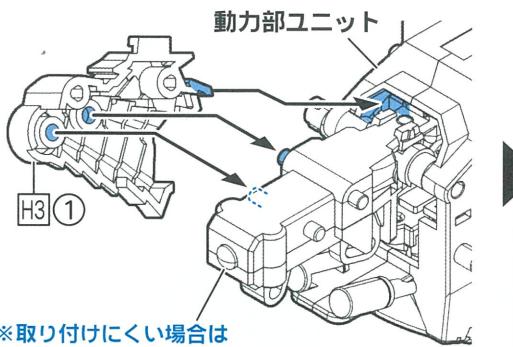
- ①動力部ユニットのネジをプラスドライバーで左に回し、ネジをゆるめカバーを外します。
- ②単4形アルカリ乾電池2本を $\oplus\ominus$ を間違えないように正しく入れてください。
- ③カバーのツメからはめて、閉じます。
- ④ネジを右に回し、締めます。



動作の確認 <ウイングユニット>

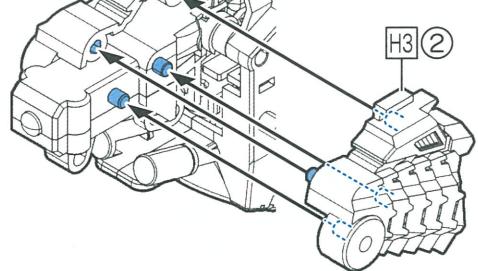


1 頭部の組み方1

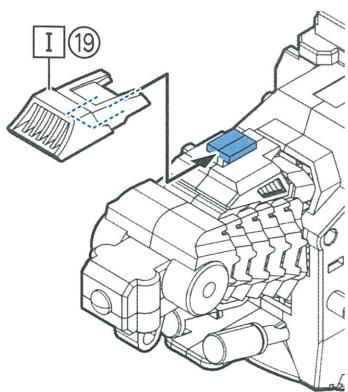


※取り付けにくい場合はスイッチを入れ、図のパーツが一番下にくるようにしてください。

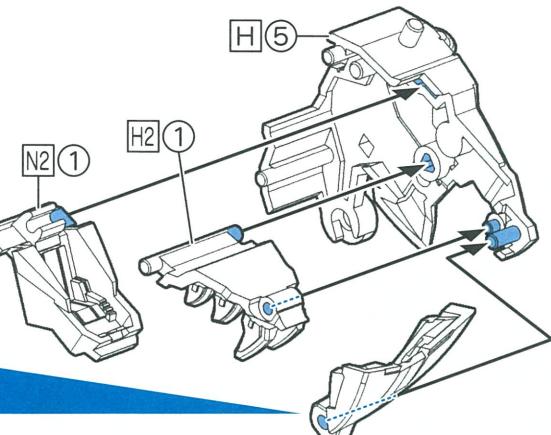
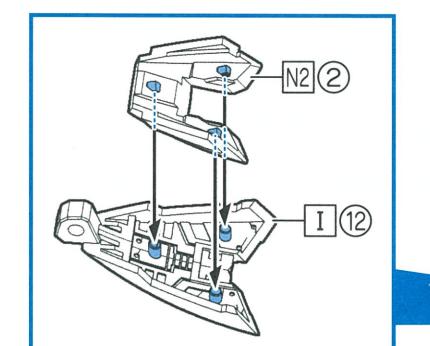
2 頭部の組み方2



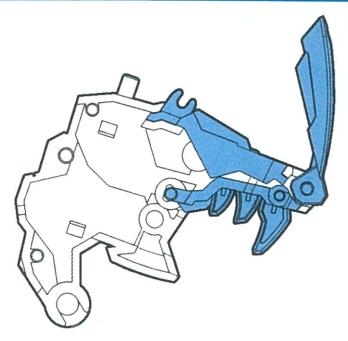
3 頭部の組み方3



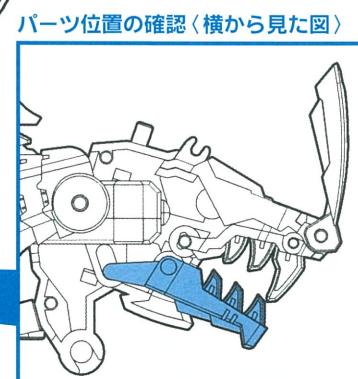
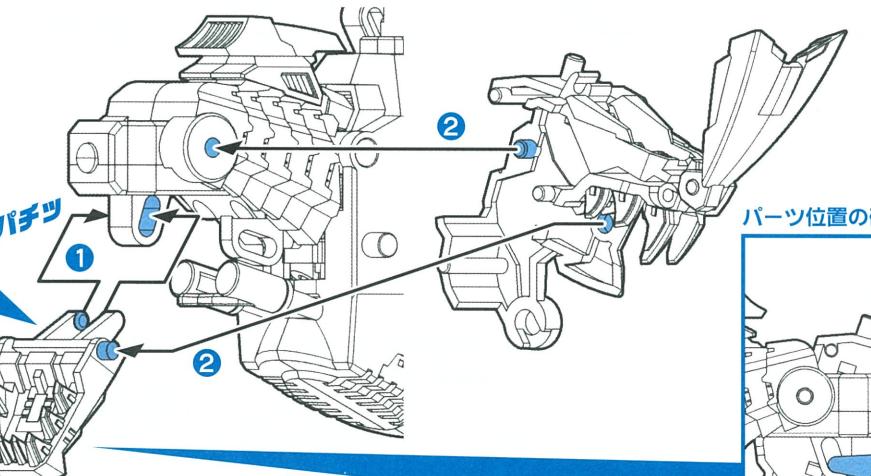
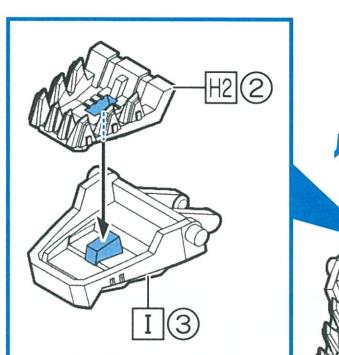
4 頭部の組み方4



パーツ位置の確認(横から見た図)

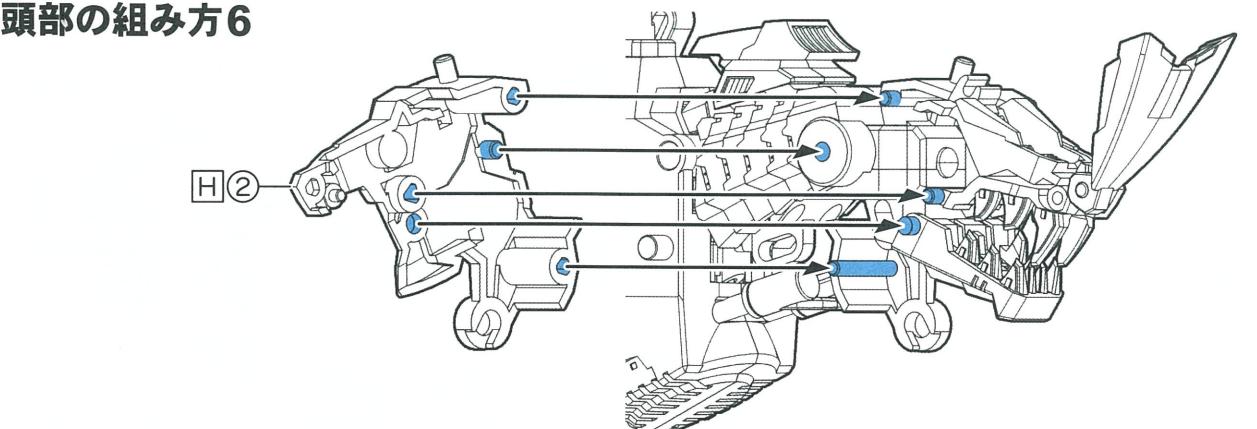


5 頭部の組み方5

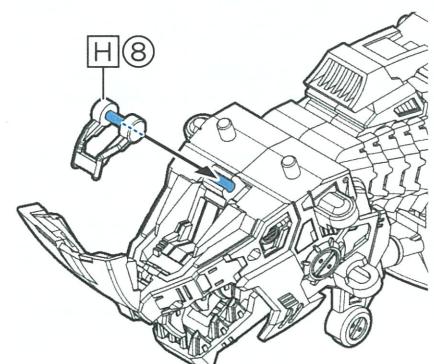


※①・②の順番で組み立ててください。

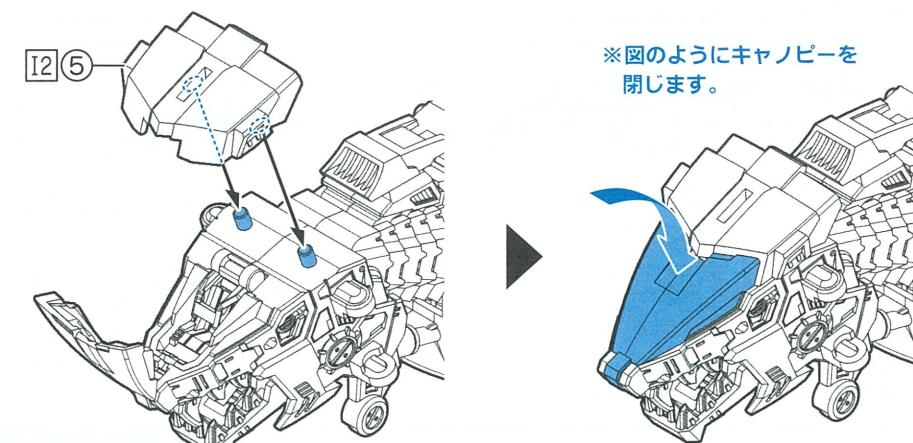
6 頭部の組み方6



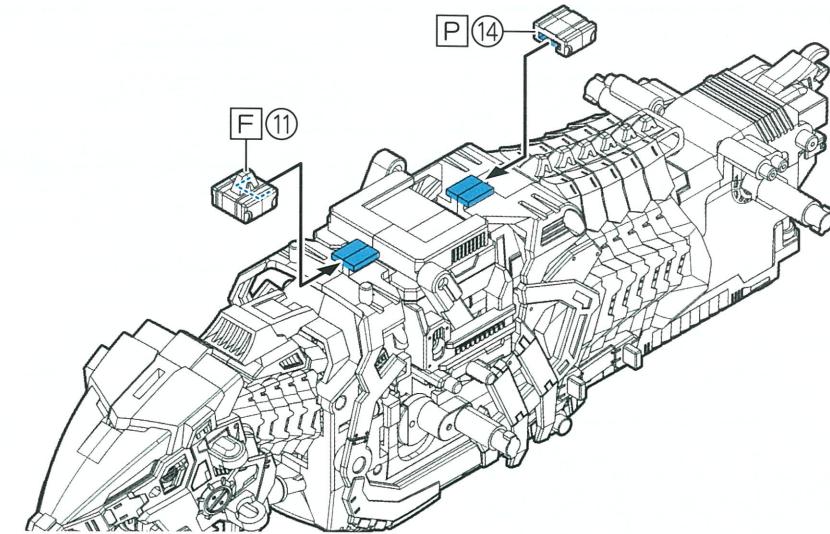
頭部の組み方7



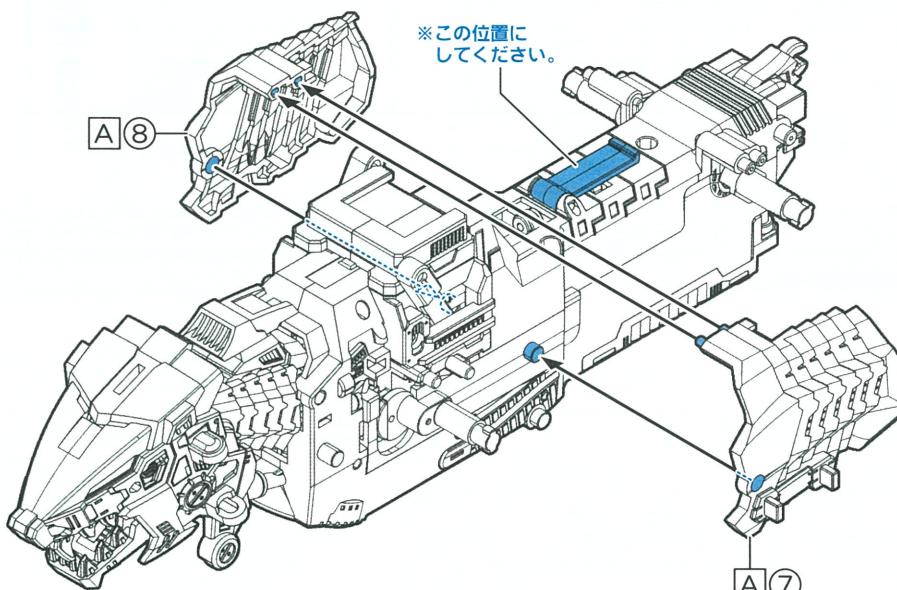
頭部の組み方8



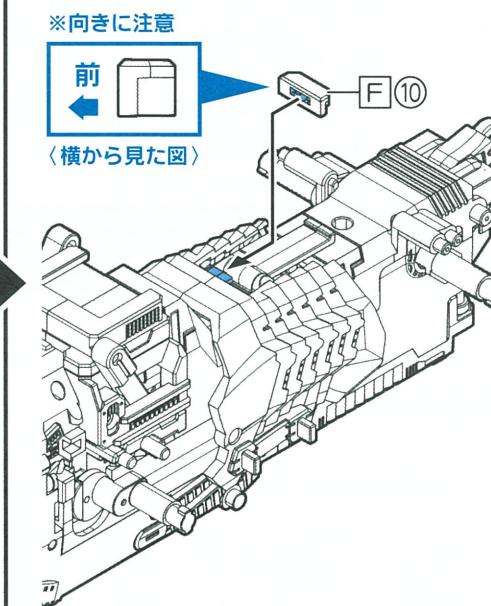
胴体の組み方4



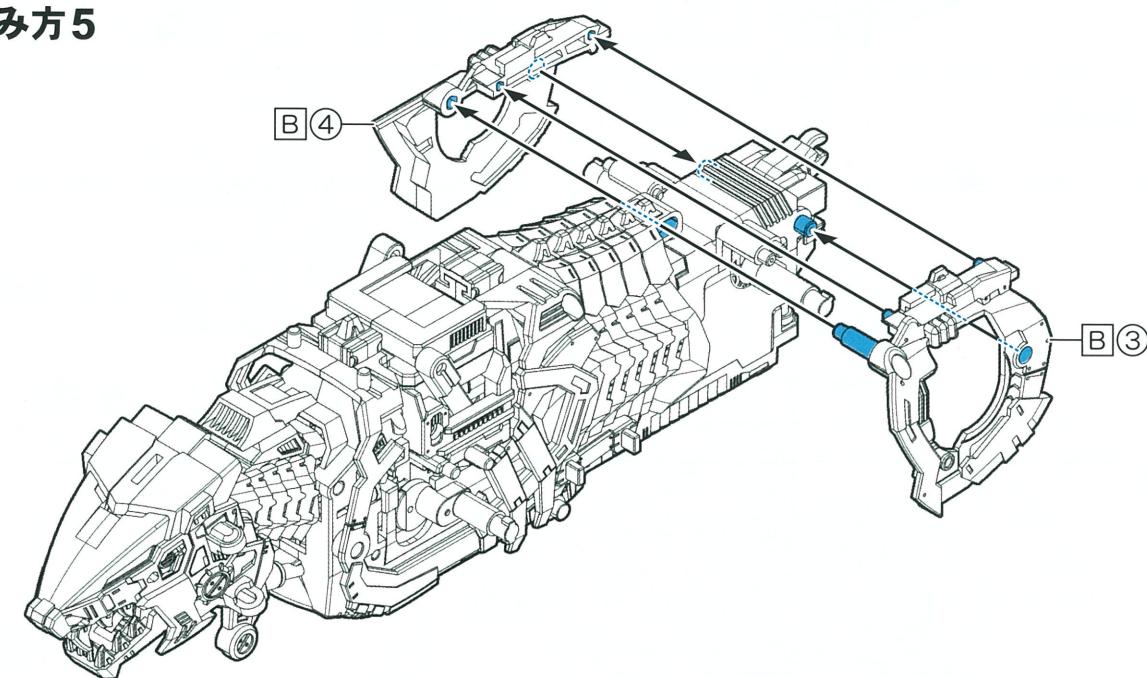
2 胴体の組み方1



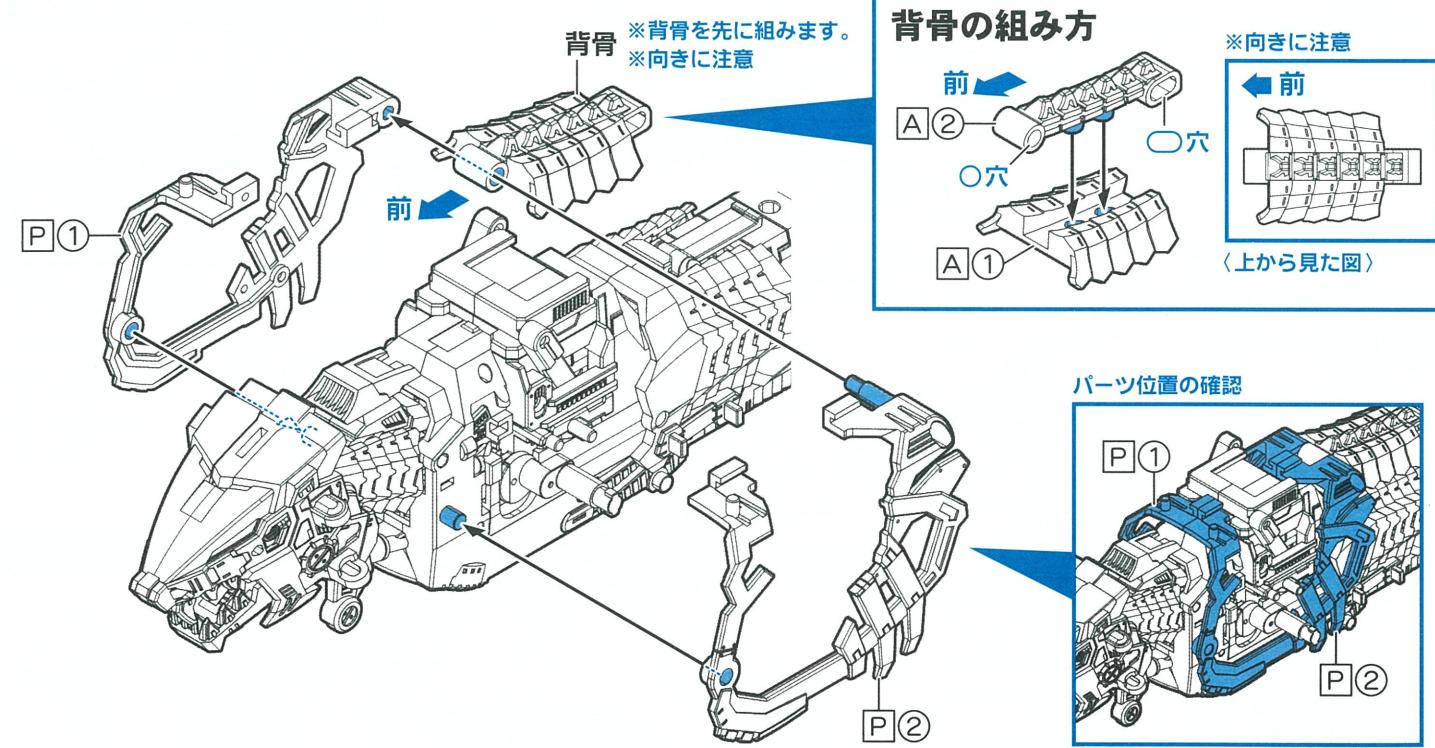
胴体の組み方2



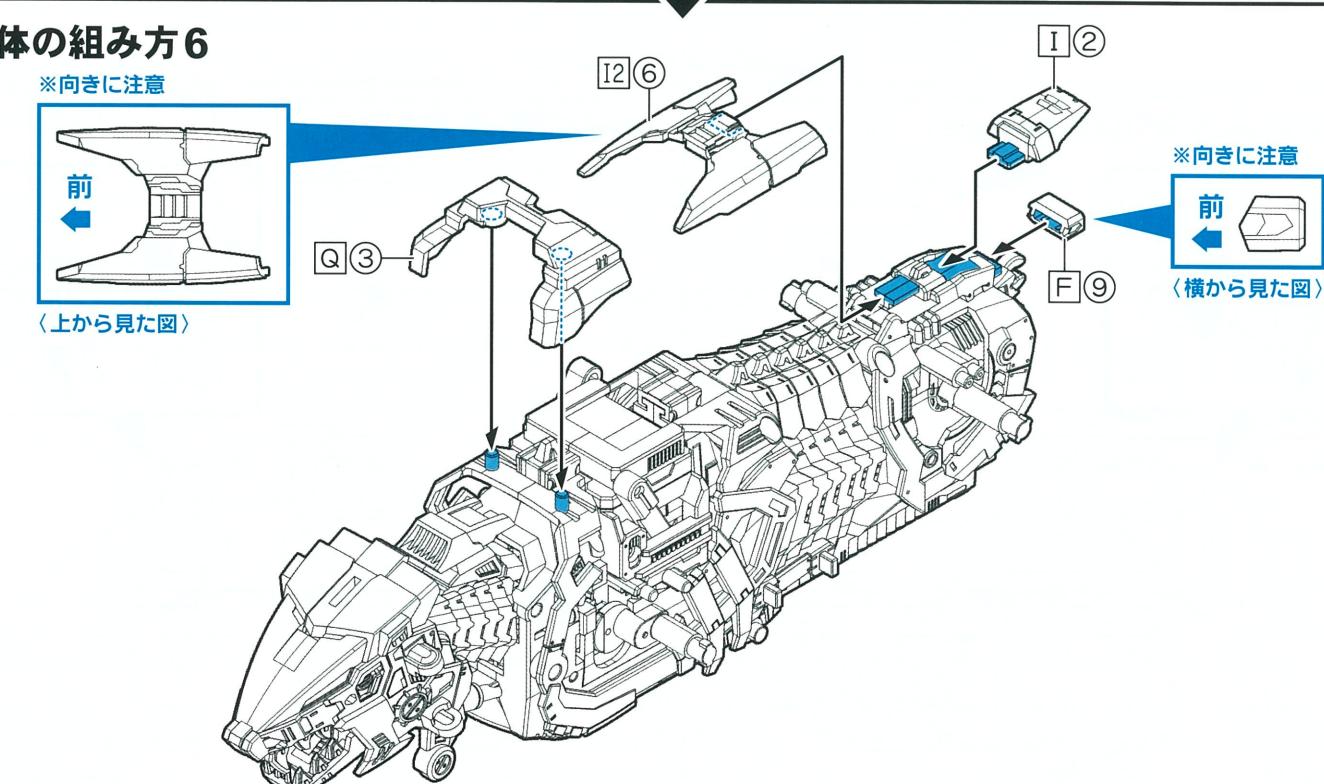
胴体の組み方5



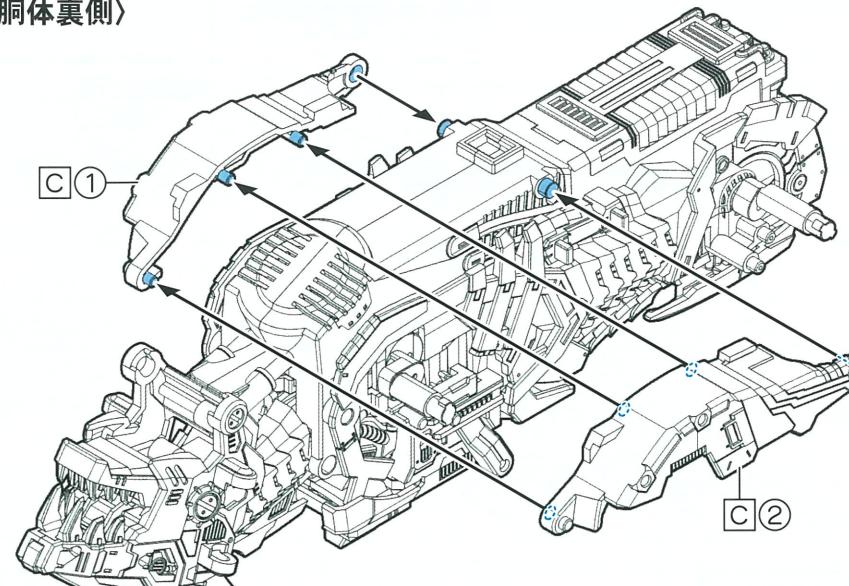
胴体の組み方3



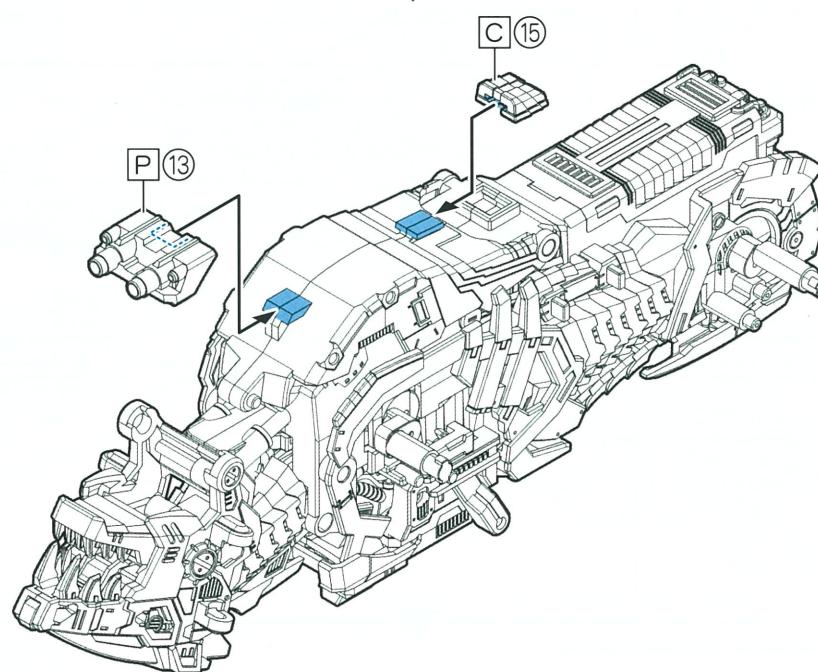
胴体の組み方6



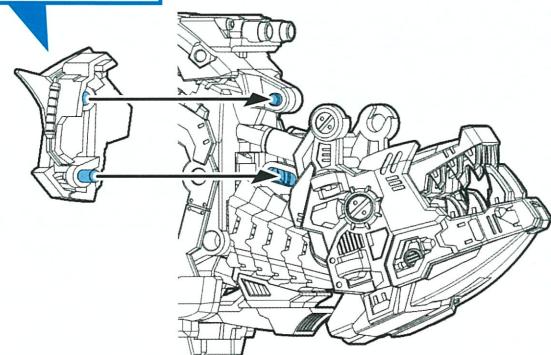
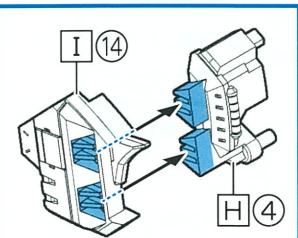
胴体の組み方7 〈胴体裏側〉



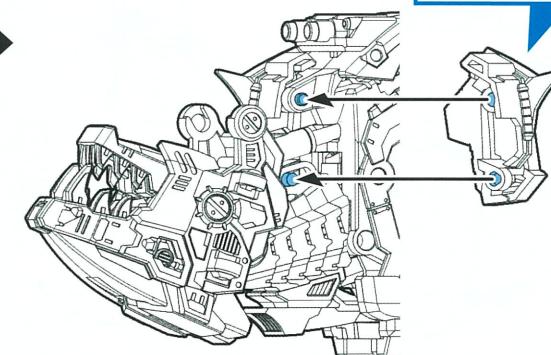
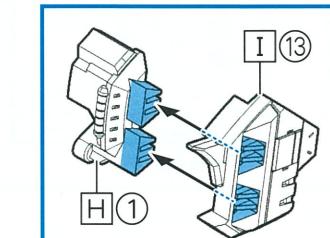
胴体の組み方8



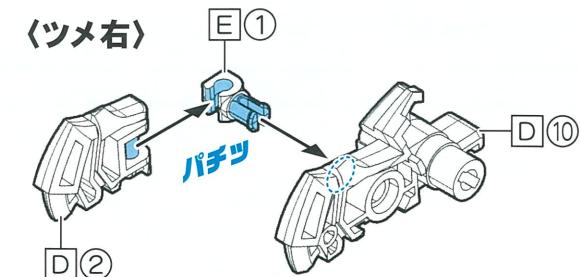
胴体の組み方9 〈胴体裏側 喉元〉



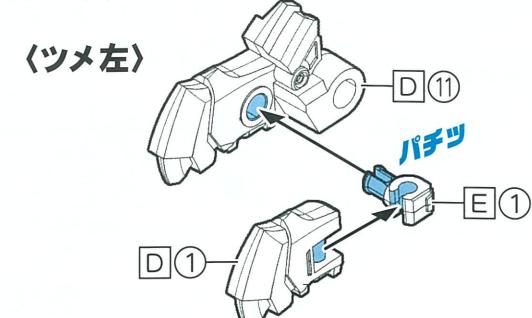
胴体の組み方10



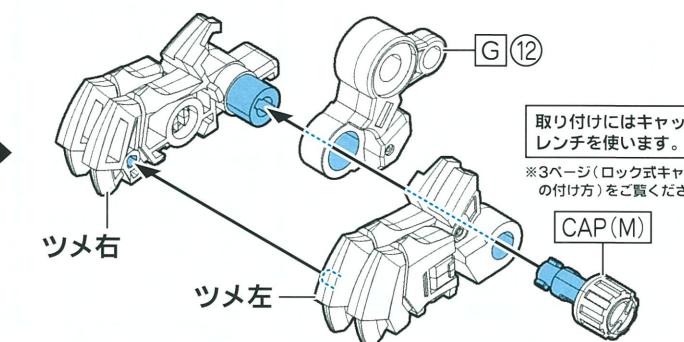
3 左前脚の組み方1



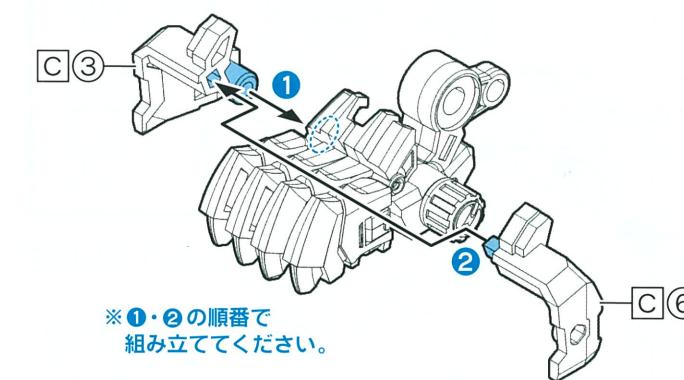
左前脚の組み方2



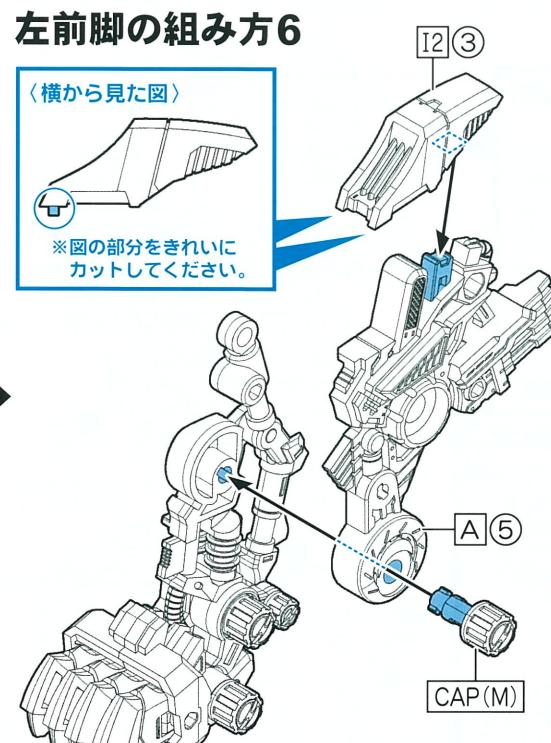
左前脚の組み方3



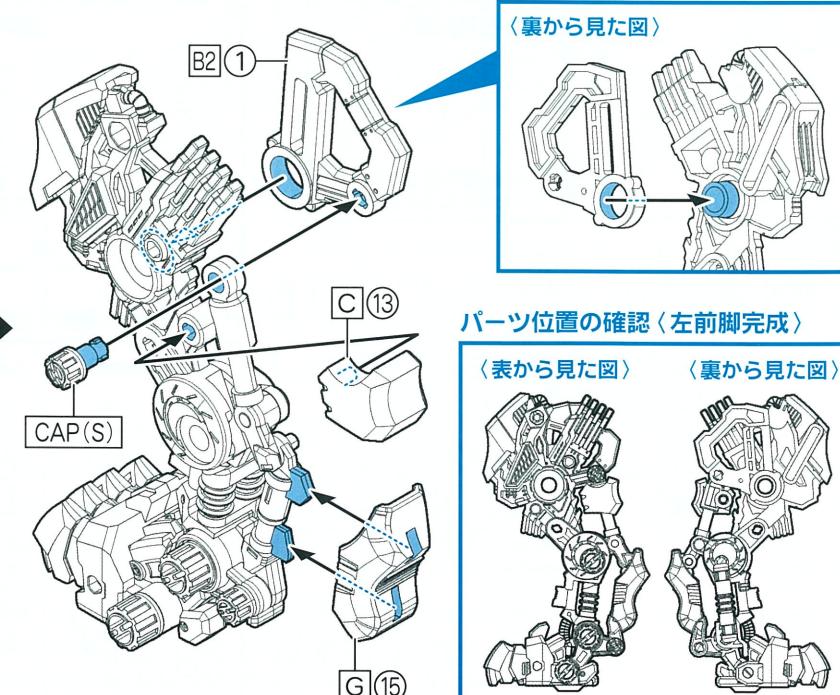
左前脚の組み方4



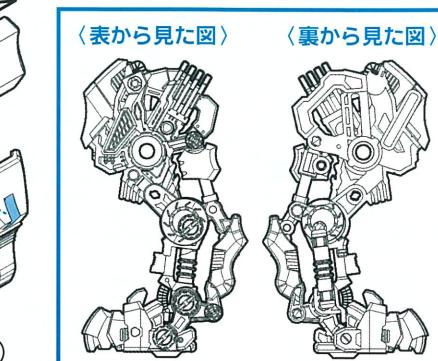
左前脚の組み方6



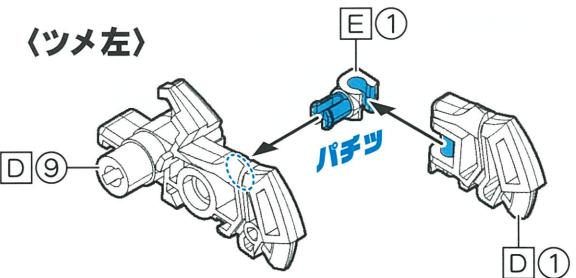
左前脚の組み方7



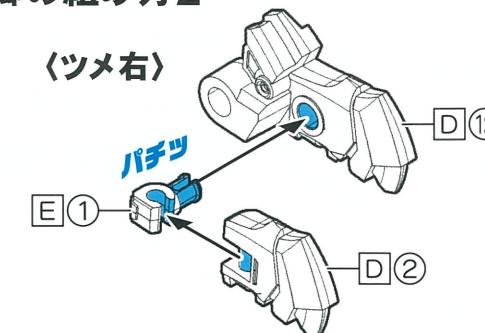
パーツ位置の確認(左前脚完成)



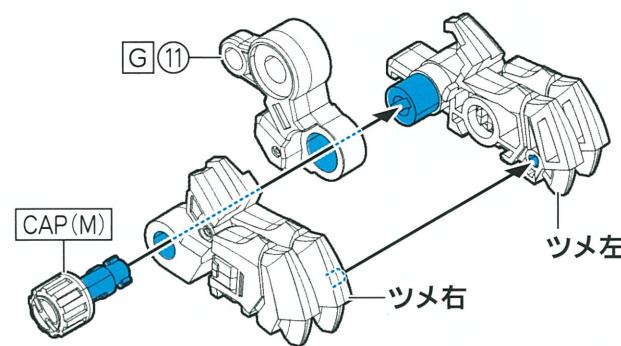
4 右前脚の組み方1



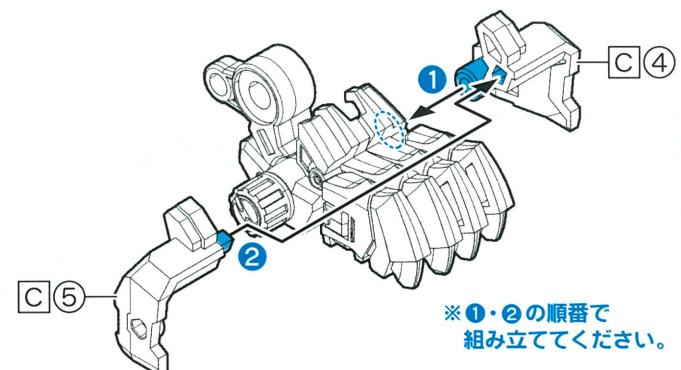
右前脚の組み方2



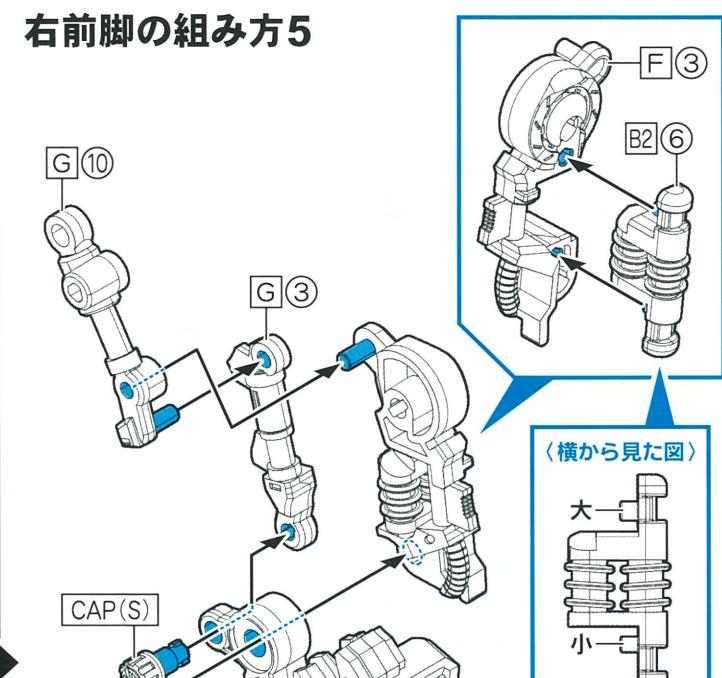
右前脚の組み方3



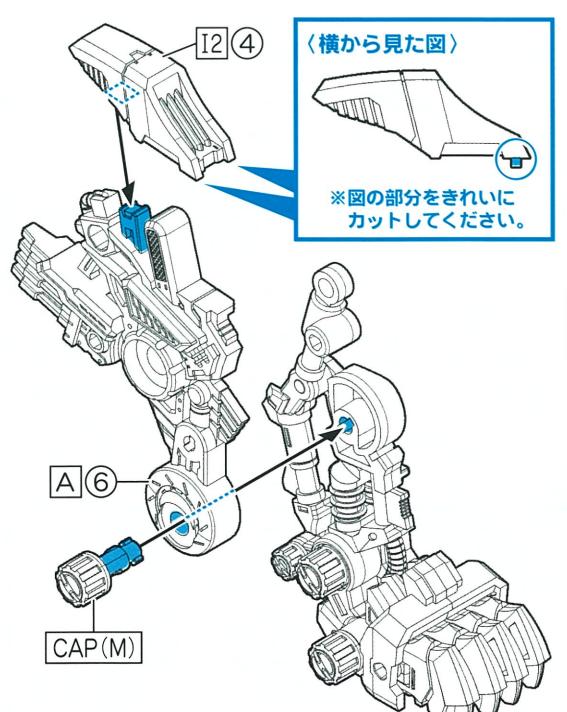
右前脚の組み方4



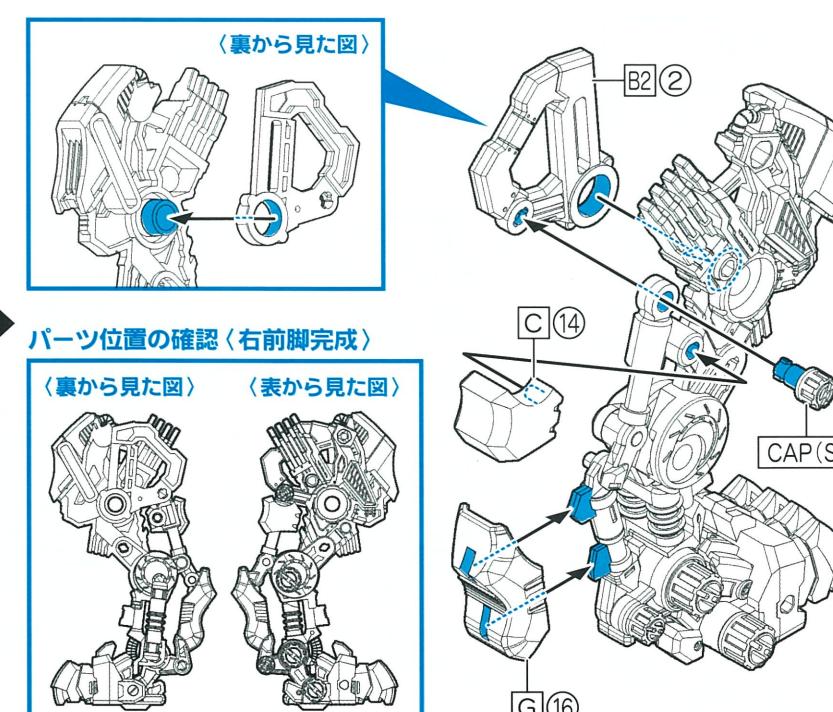
右前脚の組み方5



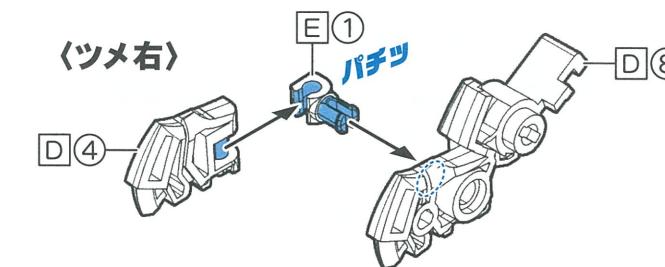
右前脚の組み方6



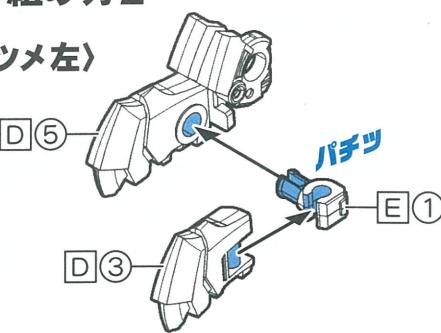
右前脚の組み方7



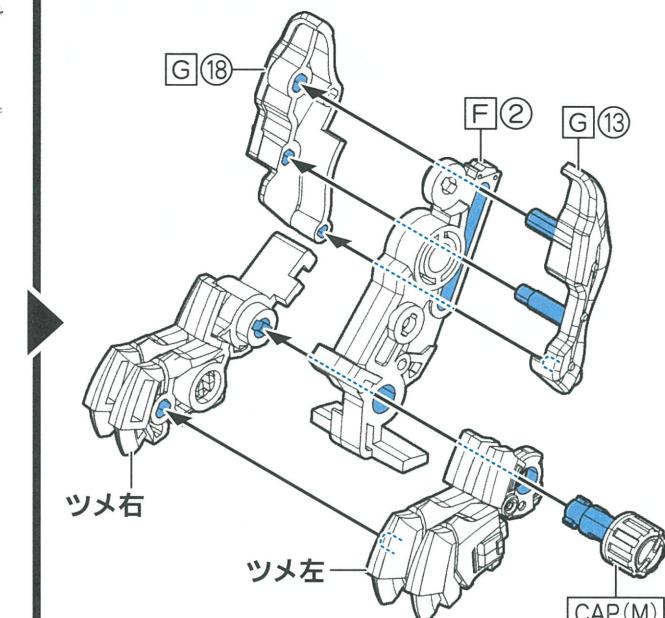
5 左後脚の組み方1



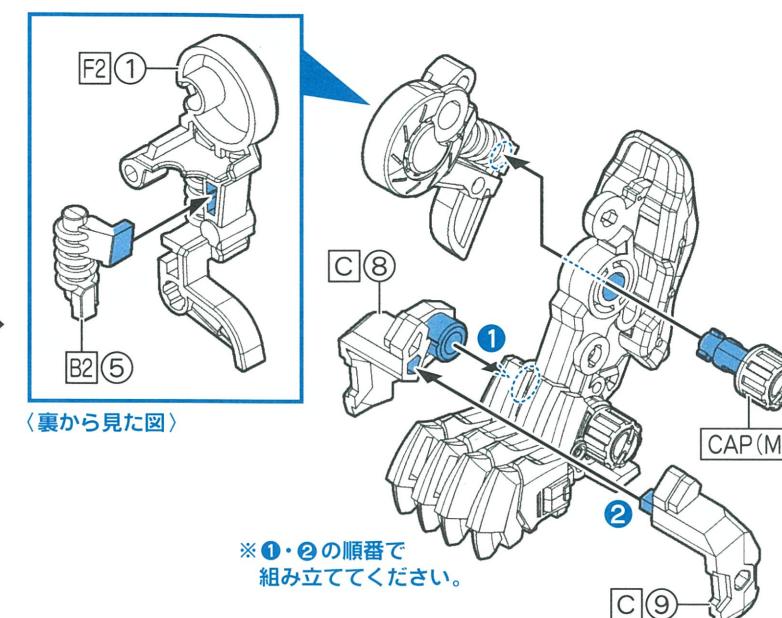
左後脚の組み方2



左後脚の組み方3

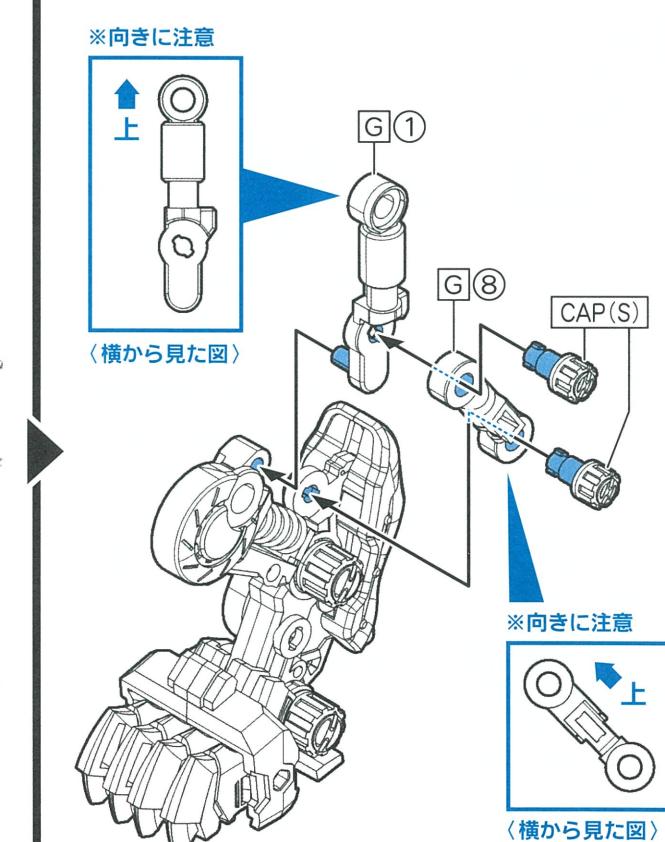


左後脚の組み方4

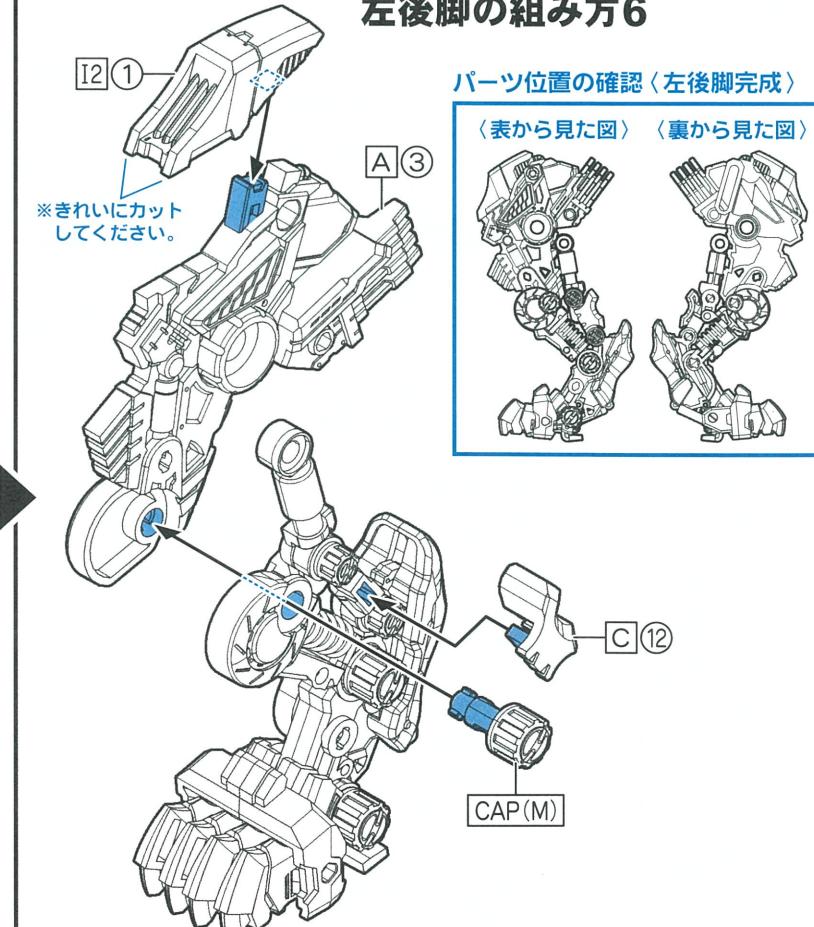


*①・②の順番で組み立ててください。

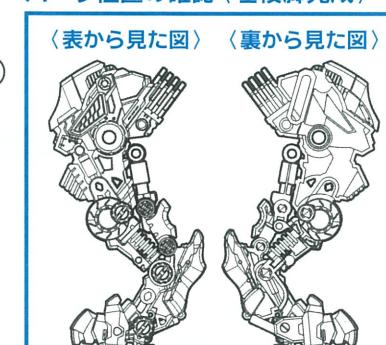
左後脚の組み方5



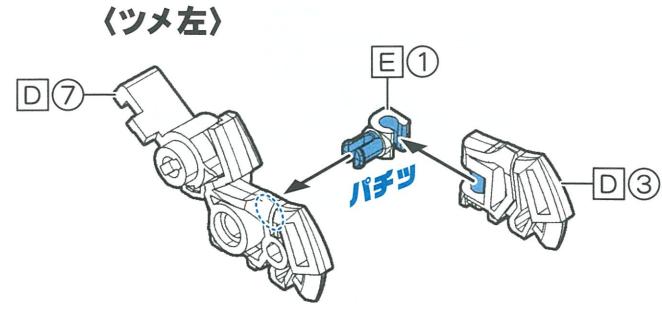
左後脚の組み方6



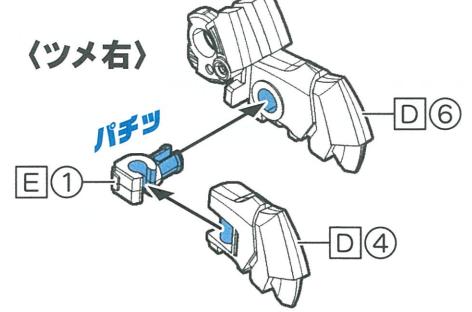
パート位置の確認（左後脚完成）



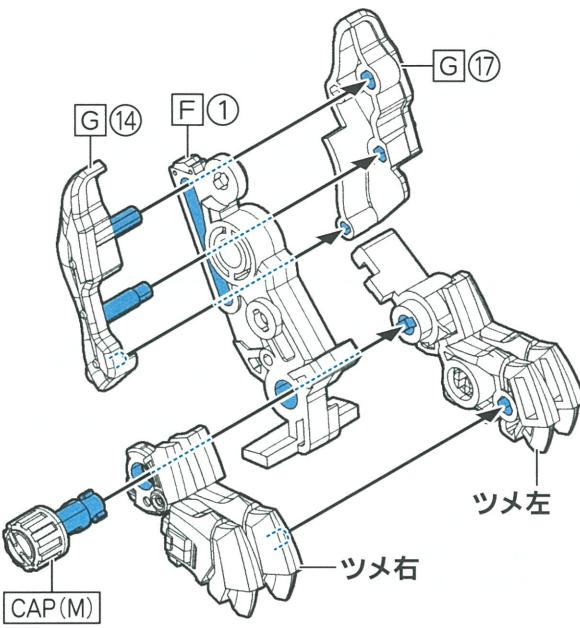
6 右後脚の組み方1



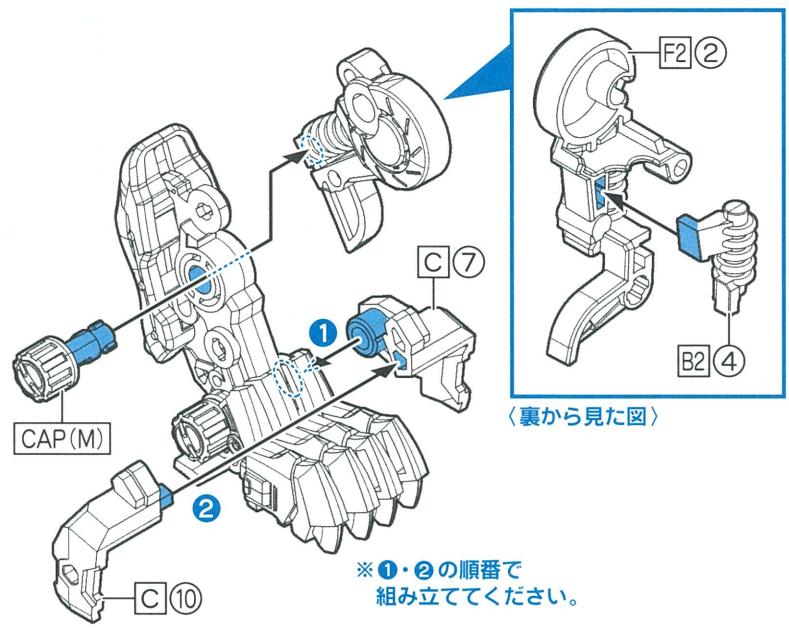
右後脚の組み方2



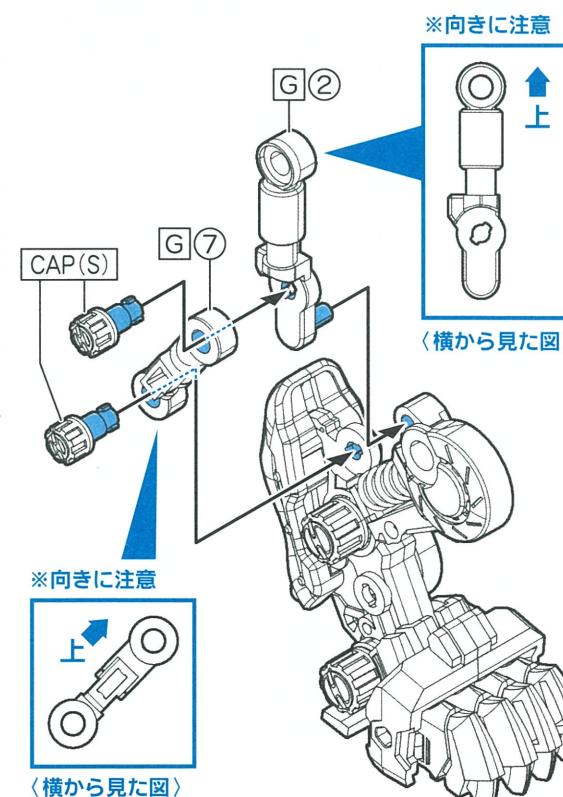
右後脚の組み方3



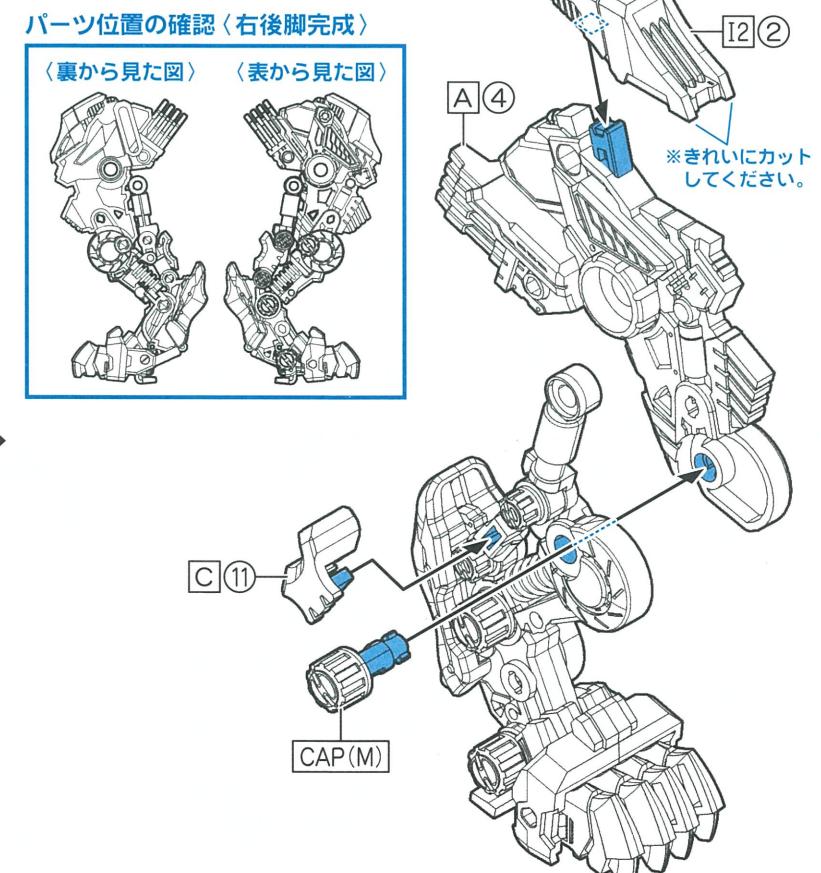
右後脚の組み方4



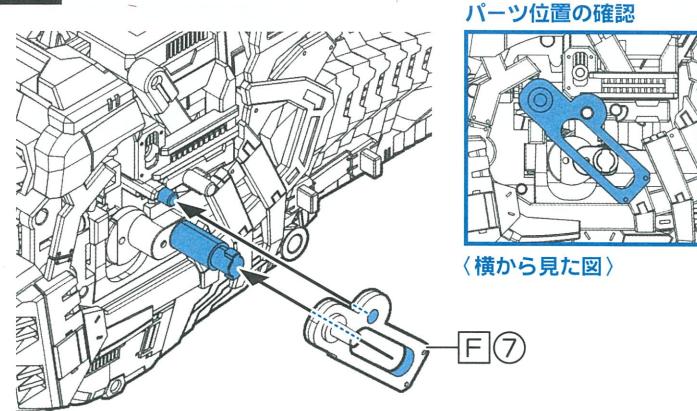
右後脚の組み方5



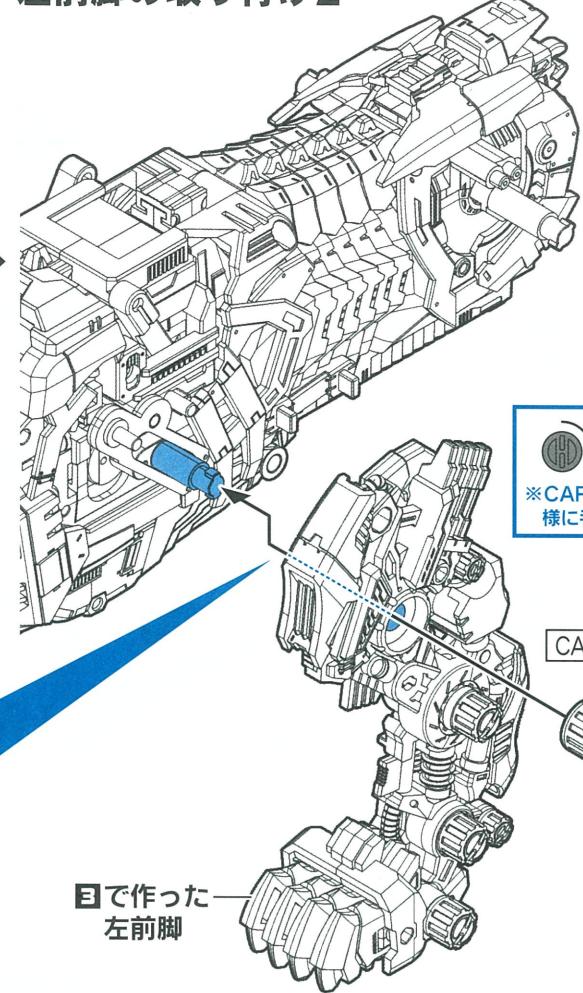
右後脚の組み方6



7 左前脚の取り付け1

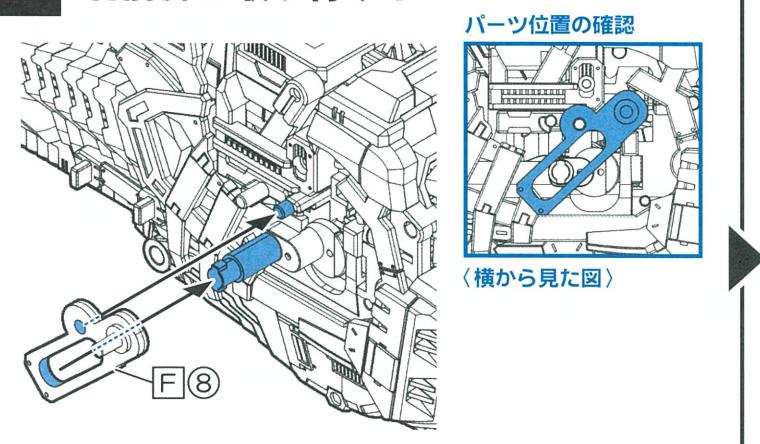


左前脚の取り付け2

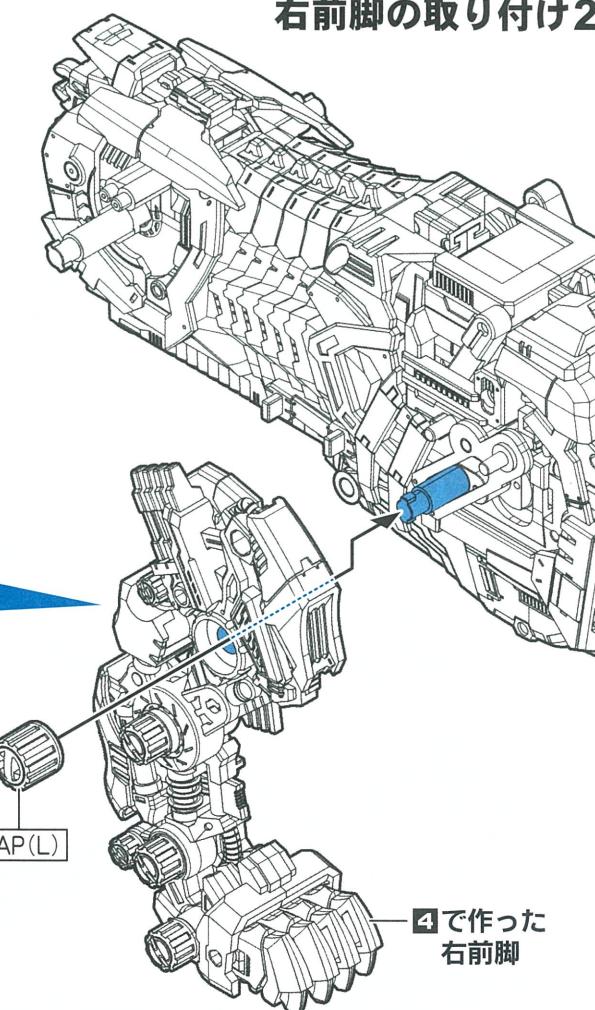


④で作った左前脚

8 右前脚の取り付け1

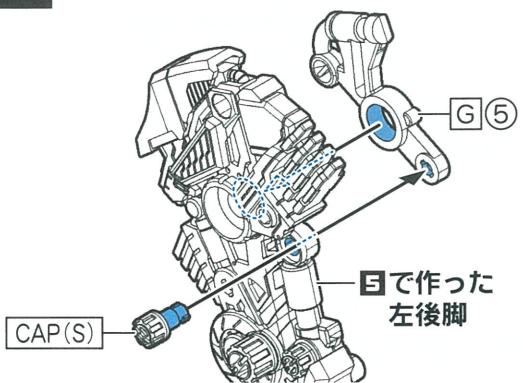


右前脚の取り付け2

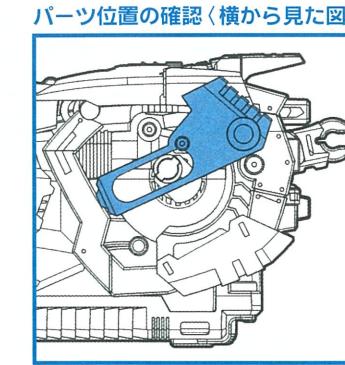
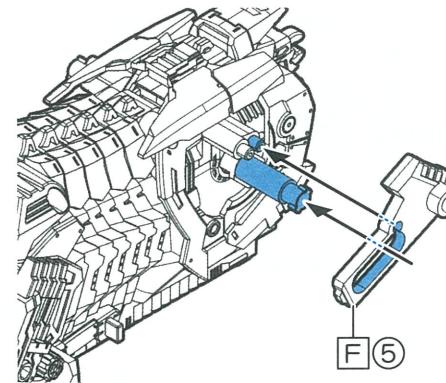


④で作った右前脚

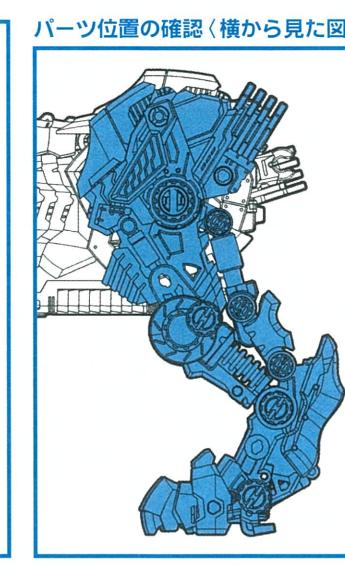
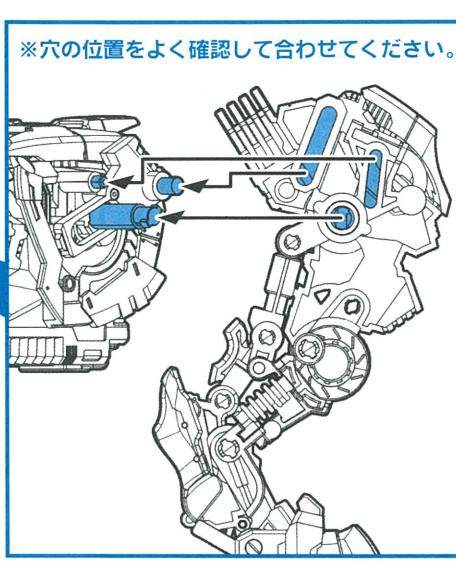
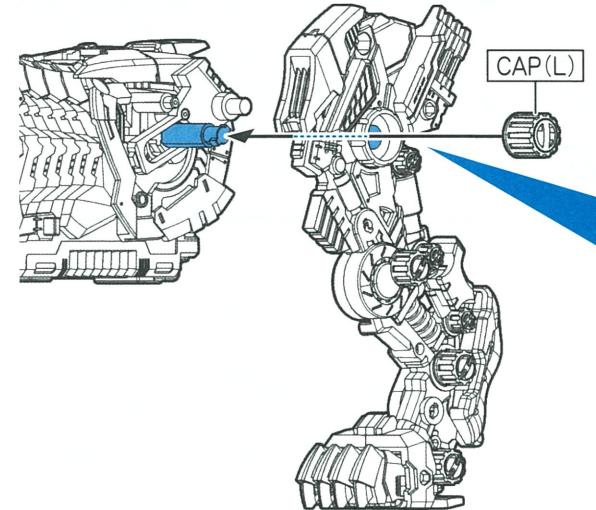
9 左後脚の取り付け1



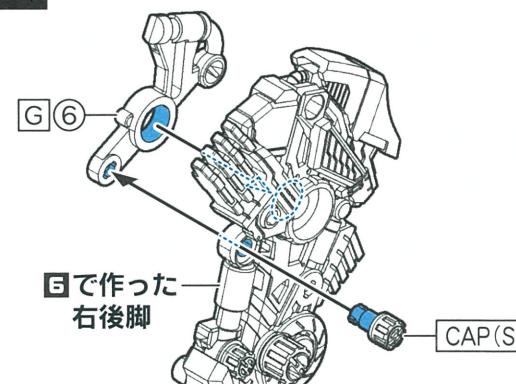
左後脚の取り付け2



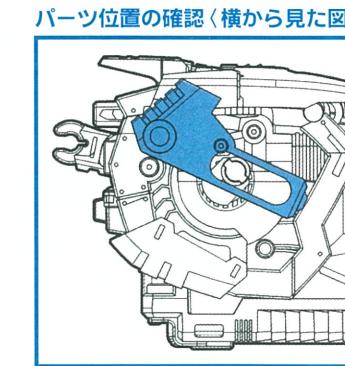
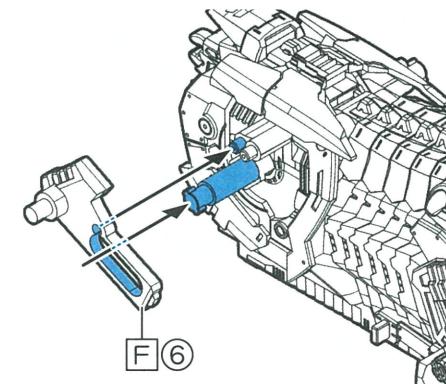
左後脚の取り付け3



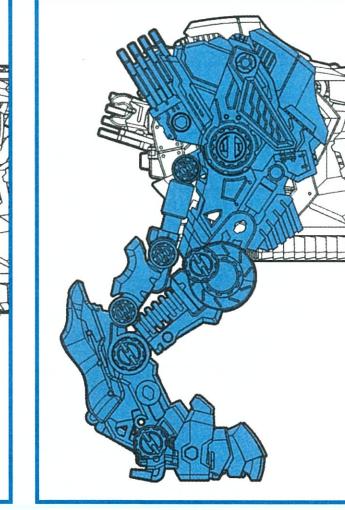
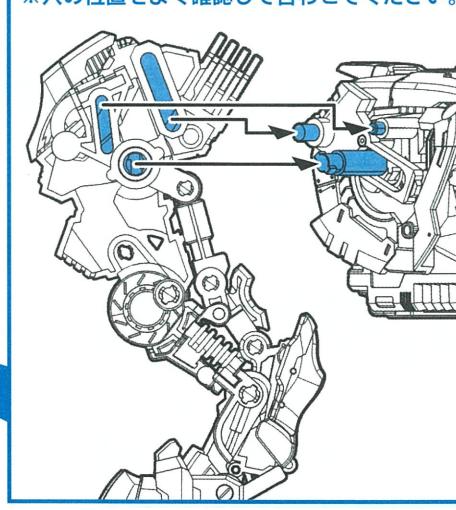
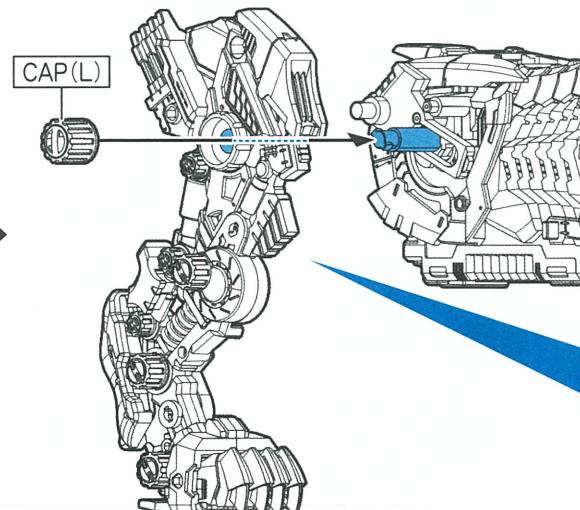
10 右後脚の取り付け1



右後脚の取り付け2



右後脚の取り付け3

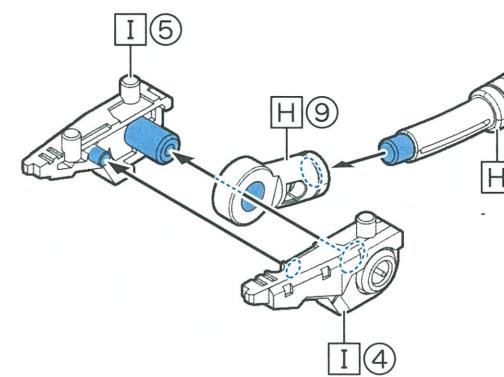
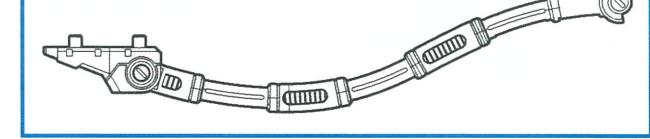


11 尻尾の組み方

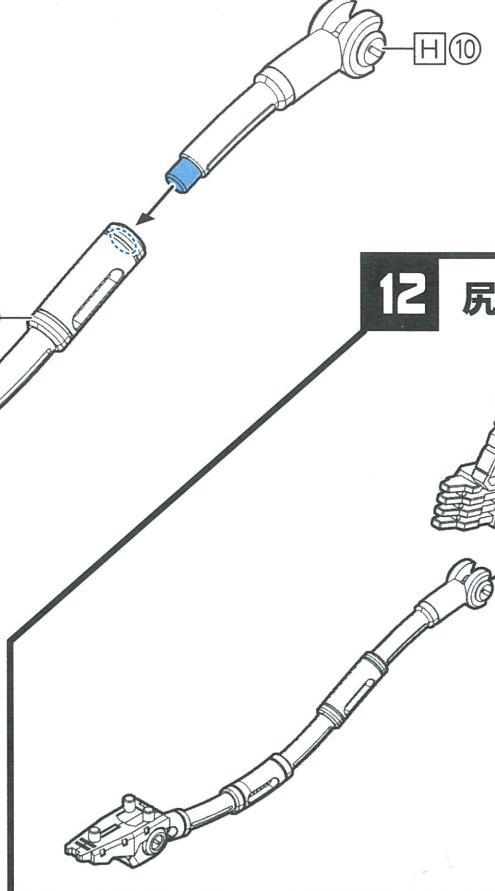


11 尻尾の組み方

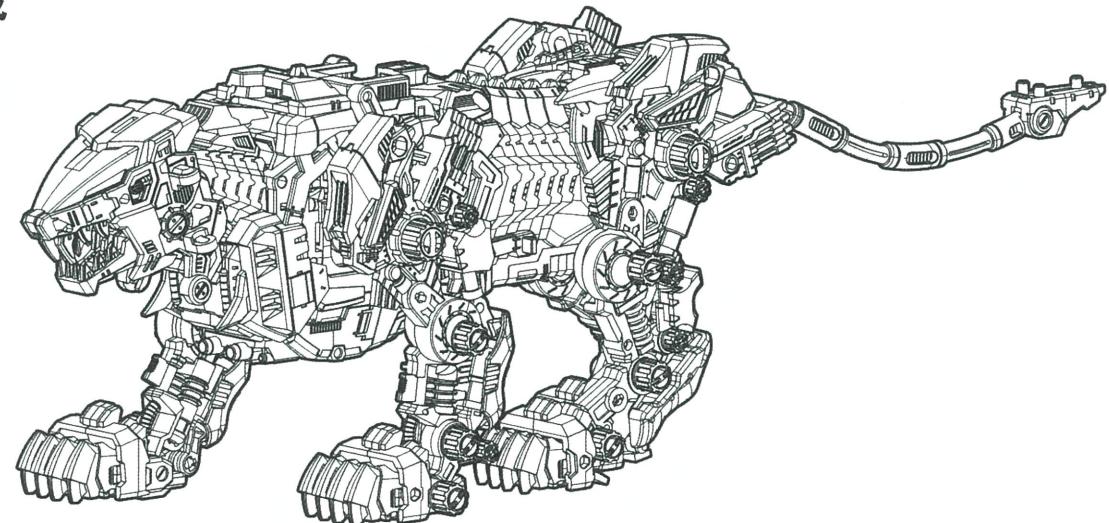
パーツ位置の確認<横から見た図>



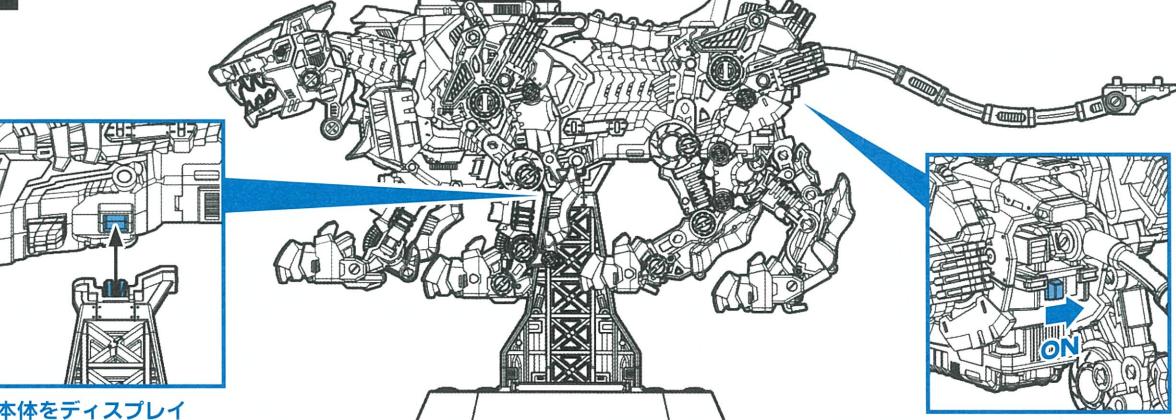
12 尻尾の取り付け



13 素体完成



14 動作の確認



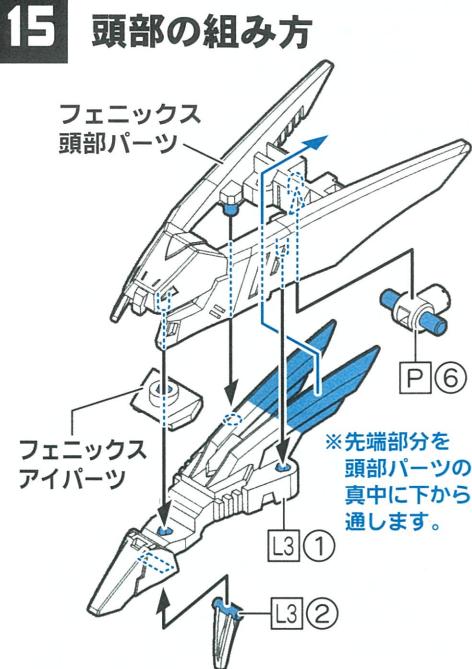
本体をディスプレイ
スタンドにセットします。

スイッチを入れると、
目とゾイドコア(胸)
が点灯し、歩行の動作
をします。

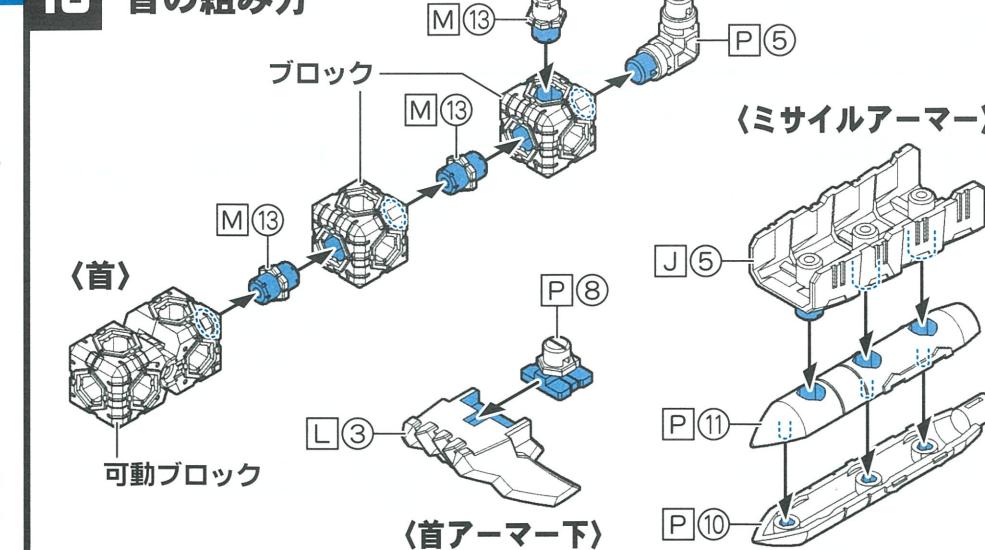
*組み方を間違えて歩行させると、破損する恐れがあります。必ずディスプレイスタンドに乗せて動作の確認をしてください。
*動きがスムーズでない場合はすぐにスイッチを切り、脚部等の部品の組み立てが正しいか再度確認してください。

ファイヤーフェニックスの組み方

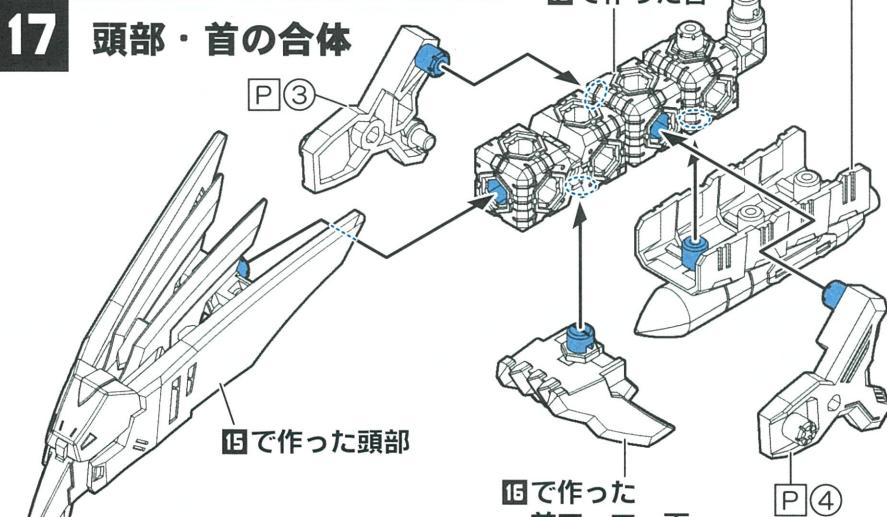
16 首の組み方



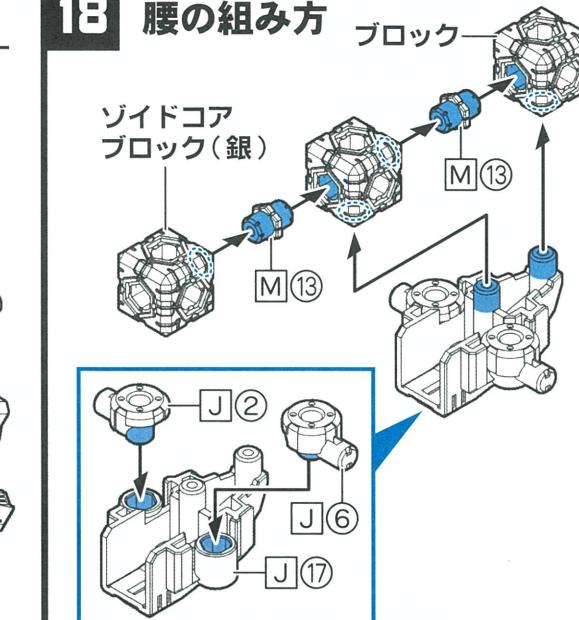
17 頭部・首の合体



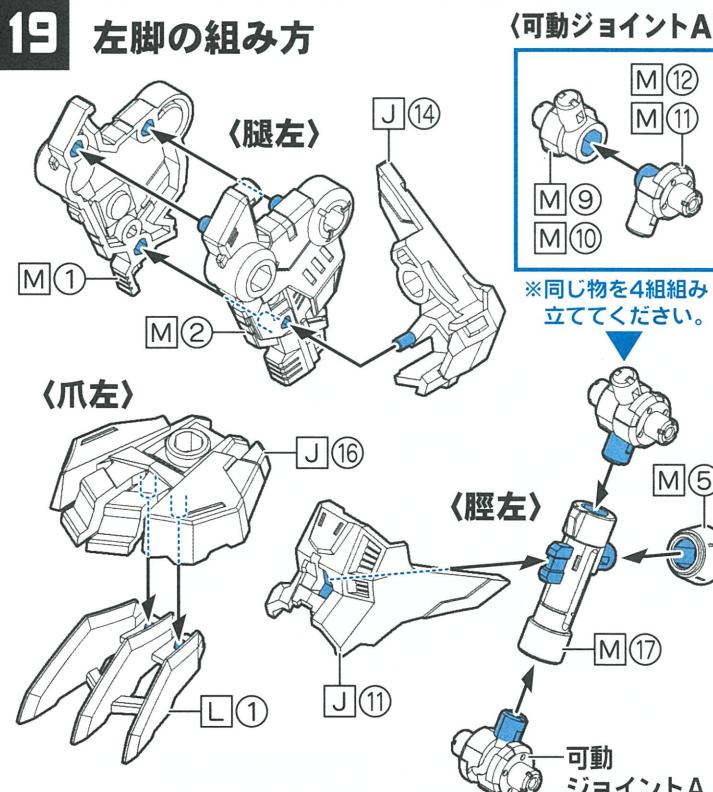
田で作った
ミサイルアーチ



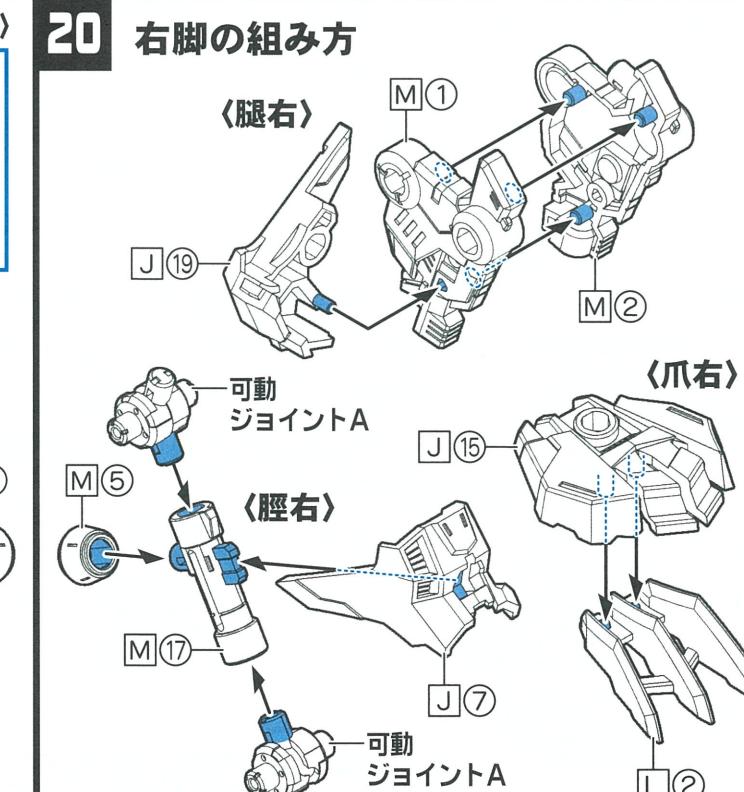
18 腰の組み



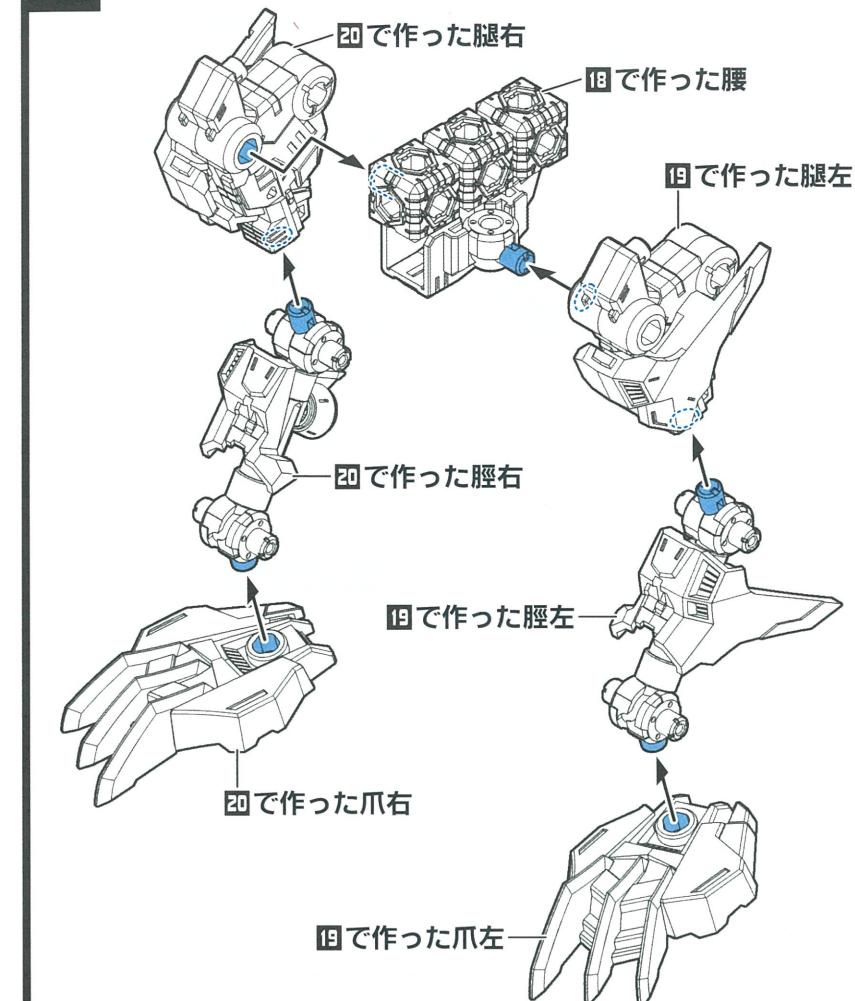
19 左脚の組み方



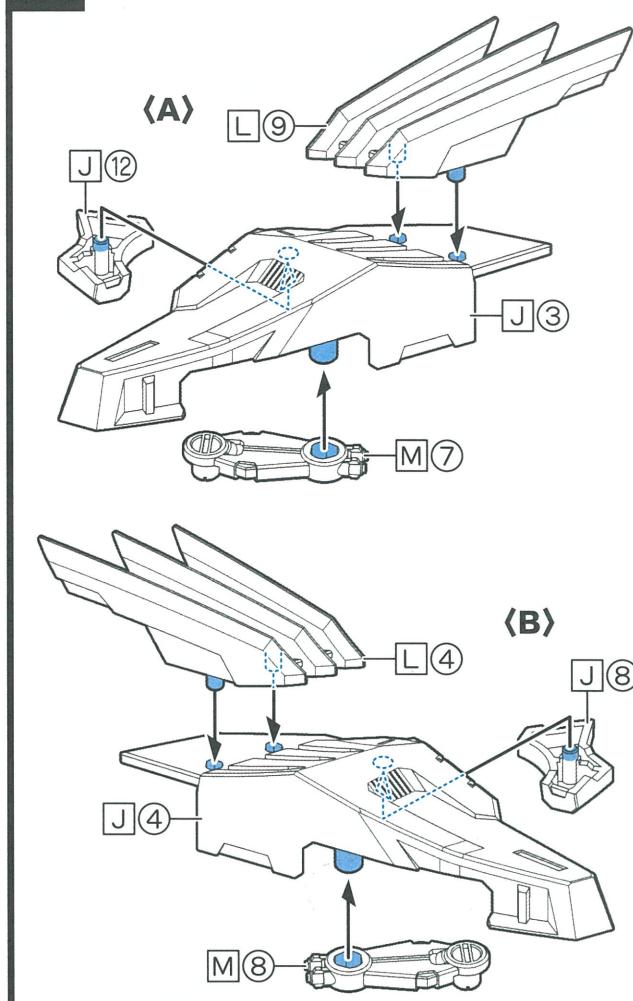
20 右脚の組み方



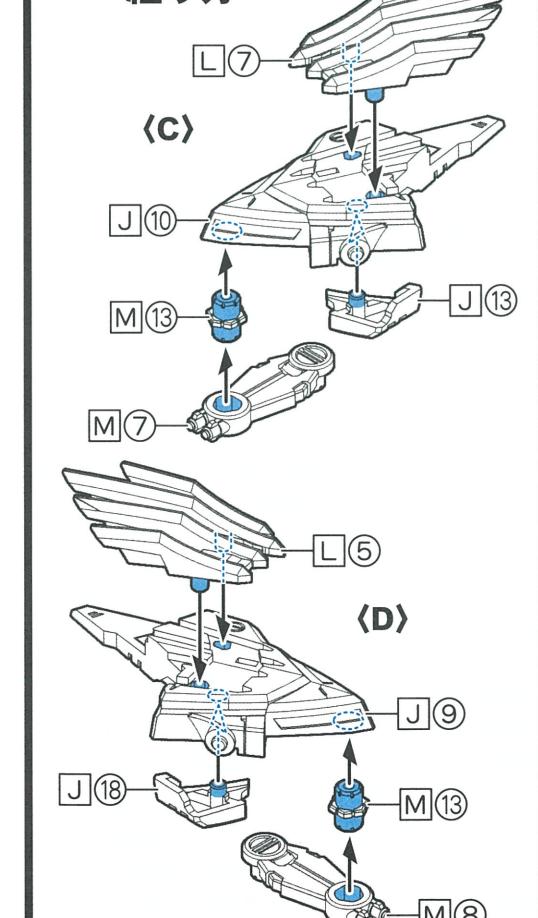
21 腰・脚の合体



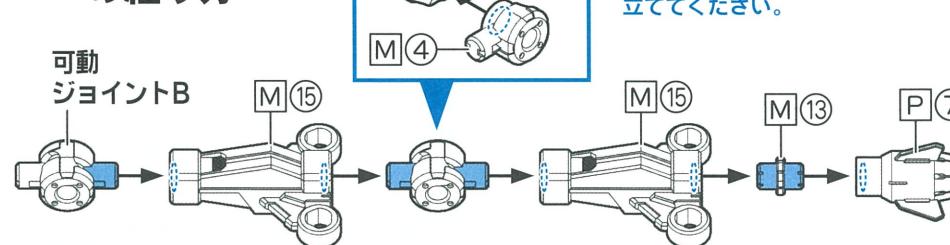
22 尻尾アーマー後の組み方



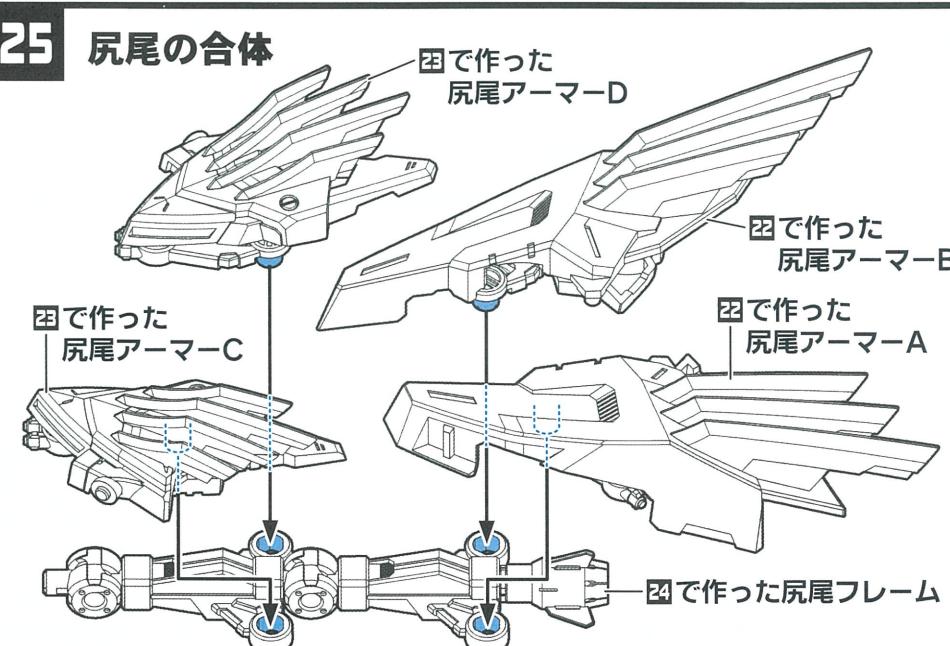
23 尻尾アーマー前の組み方



24 尻尾フレーム の組み方



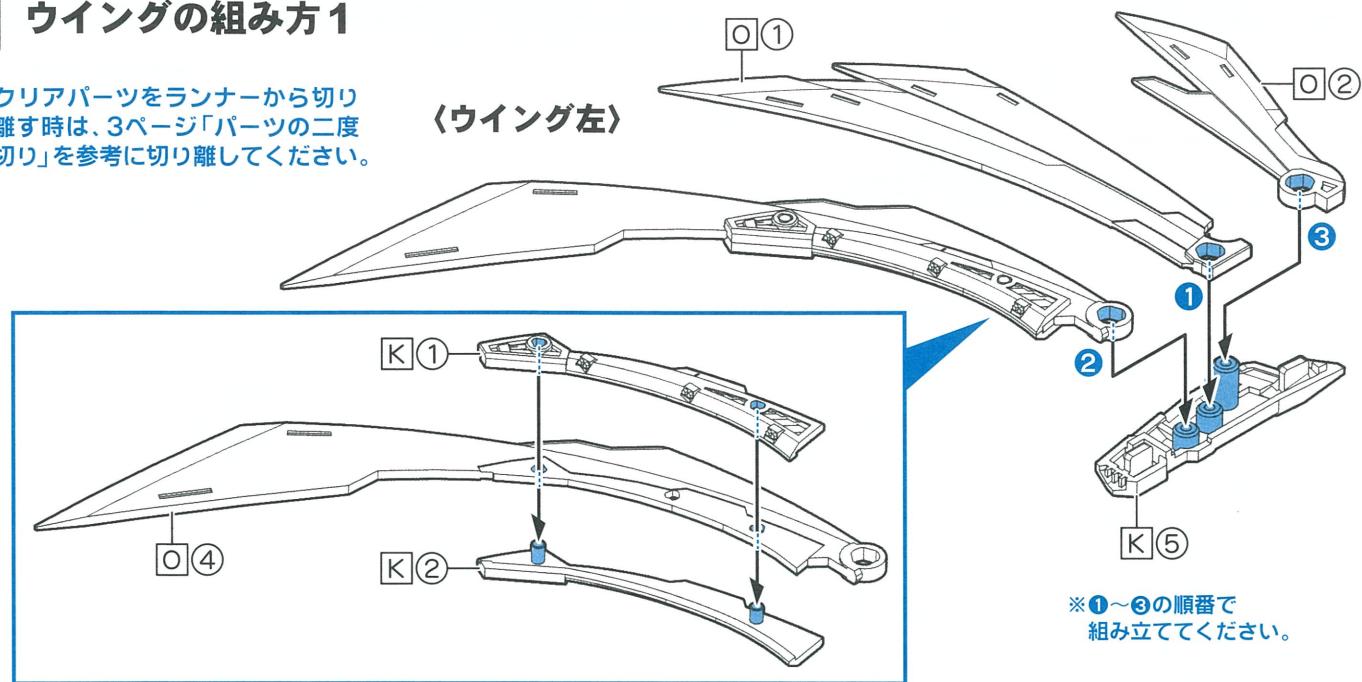
25 戸屋の合体



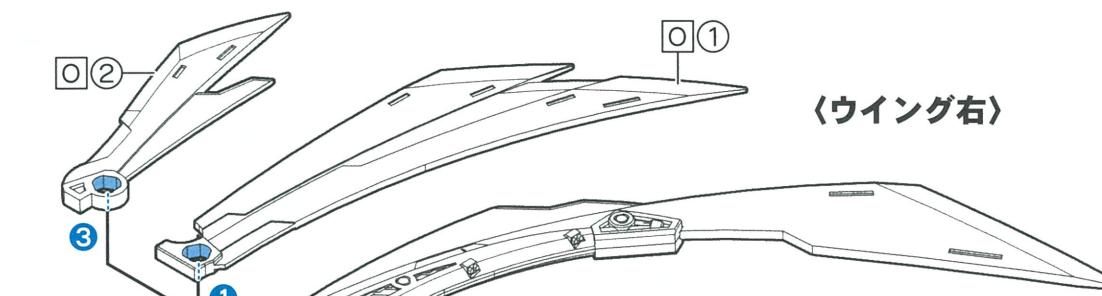
26 ウイングの組み方1

*クリアパーツをランナーから切り離す時は、3ページ「パートの二度切り」を参考に切り離してください。

〈ウイング左〉



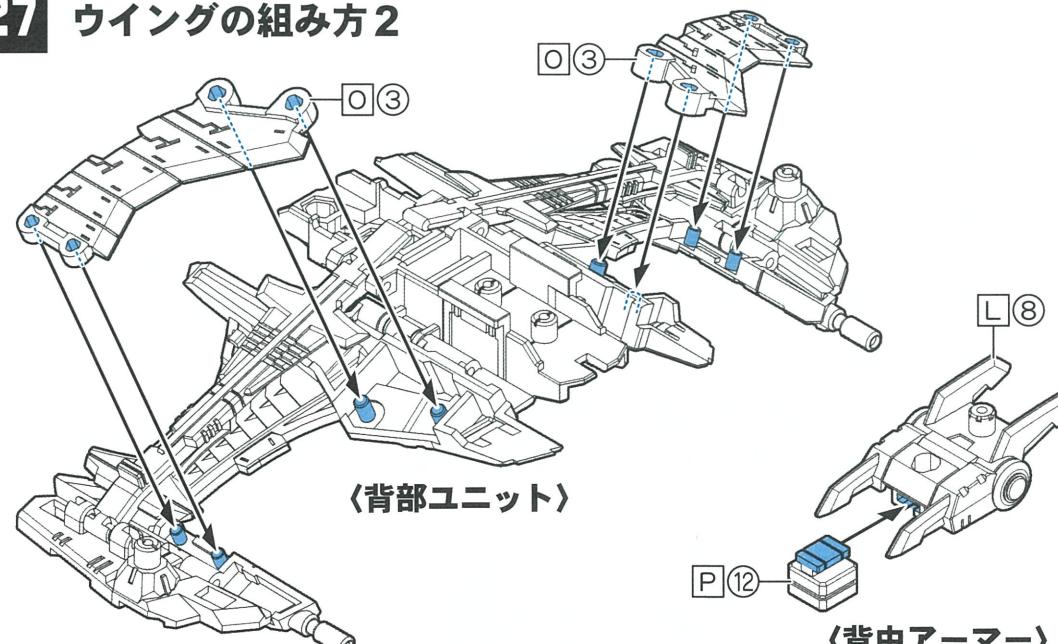
※①～③の順番で組み立ててください。



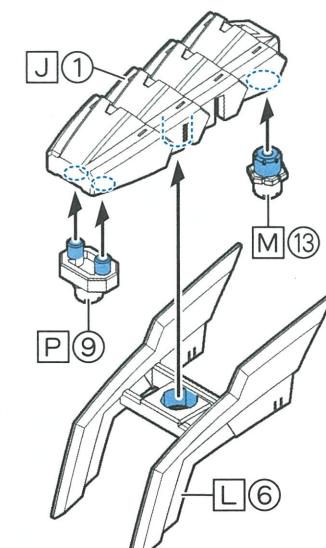
〈ウイング右〉

※①～③の順番で組み立ててください。

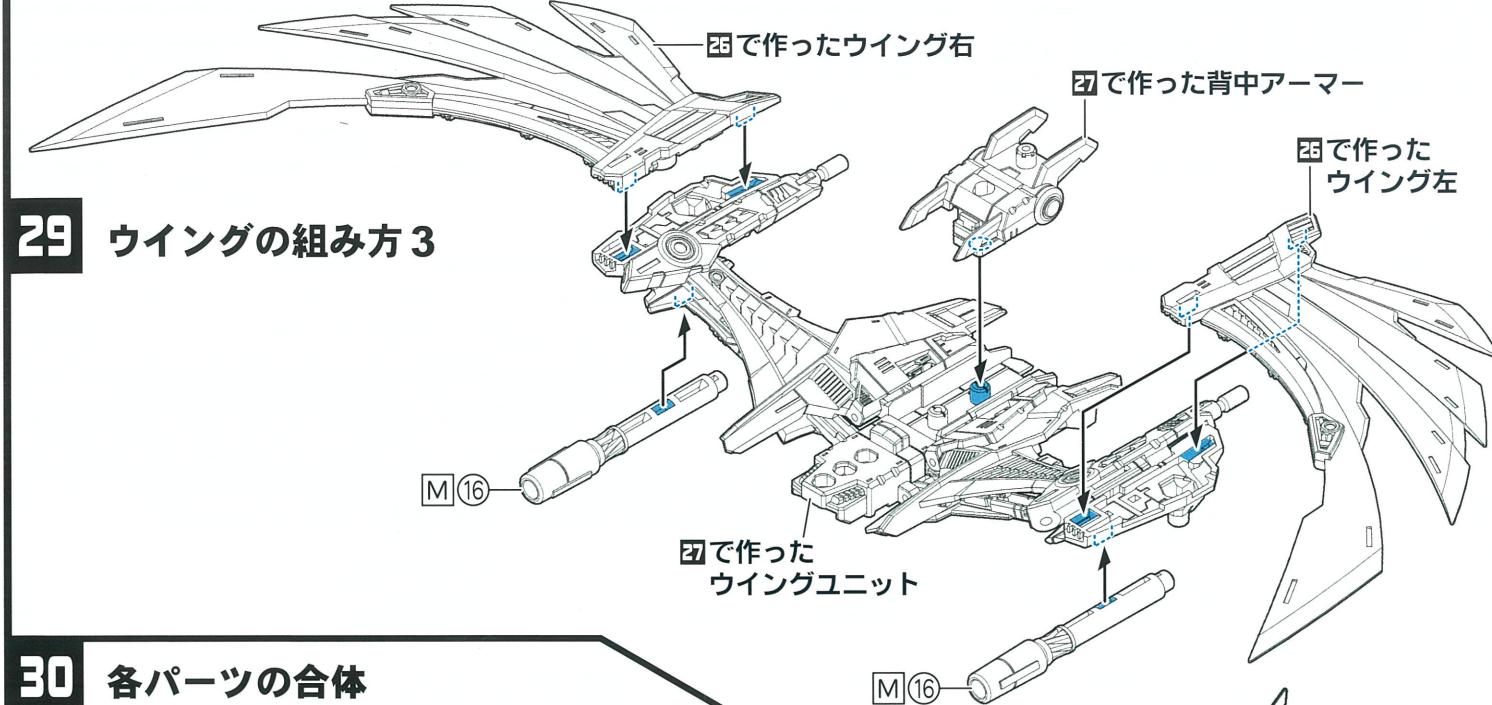
27 ウイングの組み方2



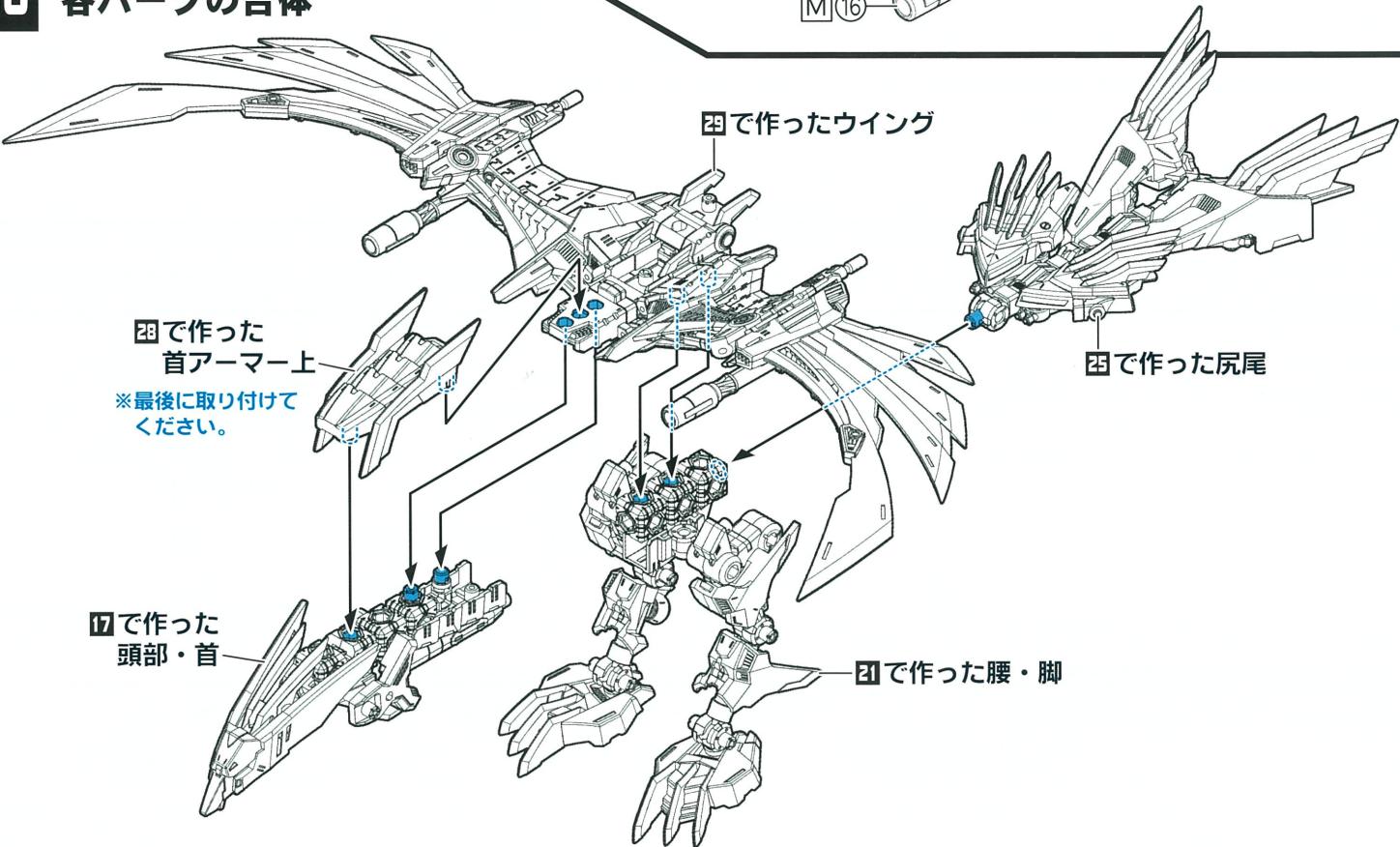
28 首アーマー上の組み方



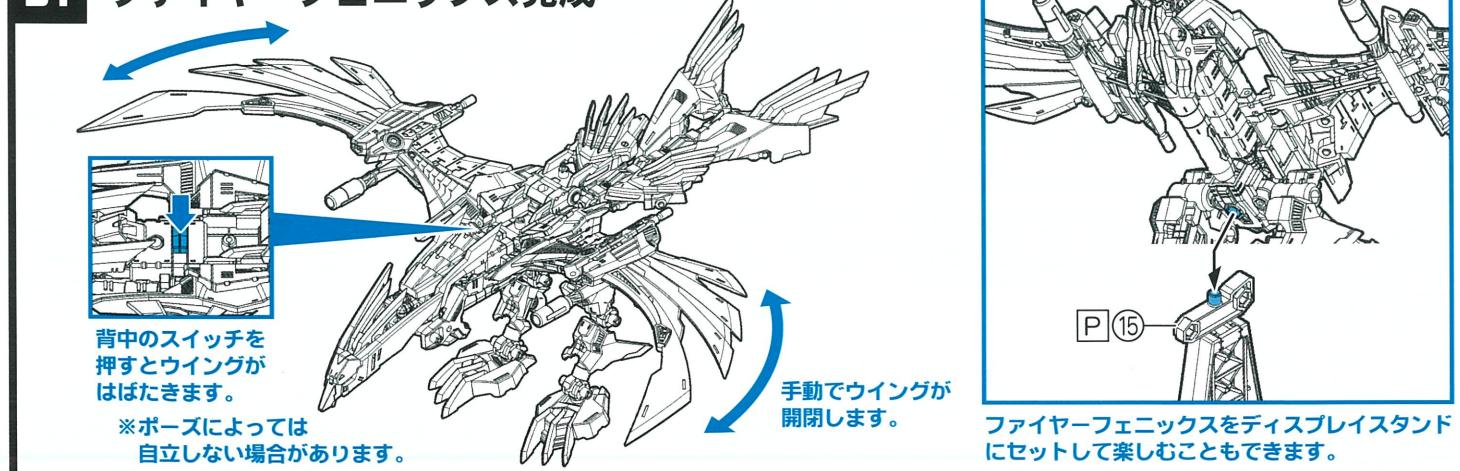
29 ウイングの組み方3



30 各パートの合体



31 ファイヤーフェニックス完成



FZ-001 LIGER ZERO PHOENIX

LION/PHOENIX TYPE
ライガーゼロフェニックス
(ライオン/フェニックス型)



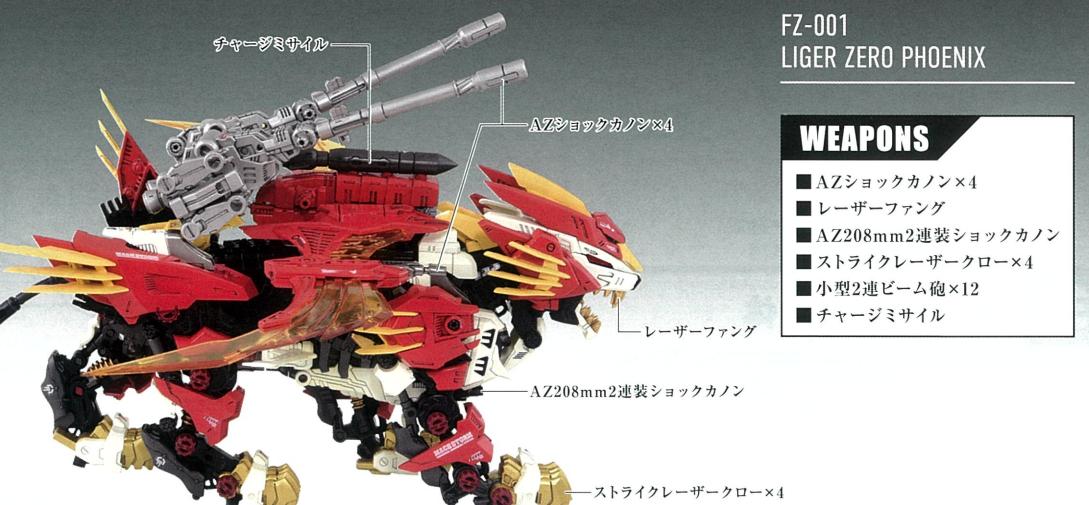
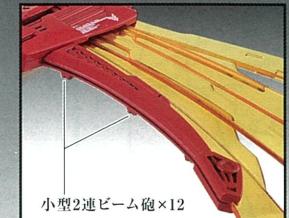
40th ANNIVERSARY ZOIDS

「40th ANNIVERSARY ZOIDS」とは、1983年の誕生以来、守り続けてきた不变のプロダクトコンセプトである「唯一無二のメカデザイン」・「自ら生み出する楽しみ」・「動く躍動する生命感」の極限を目指すと共に、40年の歴史で積み上げられた、技術の研磨と進化への挑戦が注ぎ込まれたゾイド40年の集大成となるプロダクトである。

ゾイドを新たな未来へと導く。



SPEC DATA



FZ-001
LIGER ZERO PHOENIX

WEAPONS

- AZショックカノン×4
- レーザーファング
- AZ208mm2連装ショックカノン
- スライクレーザークロ-×4
- 小型2連ビーム砲×12
- チャージミサイル

EXPLANATION

かつてマッハストームに所属していたアッシュの愛機であり、息子RDへと受け継がれた歴戦のライガーゼロ。気高き野生ゾイドであり、RDとライガーゼロのズィーパートナーとなったファイヤーフェニックス。ライガーゼロがファイヤーフェニックスとズィーユニゾンした姿がライガーゼロフェニックスである。身軽で格闘戦得意とするライガーゼロと、優れた運動性能を誇る大型飛行ゾイドであるファイヤーフェニックスの特性がユニゾンによって組み合わされたことで飛行が可能となっただけでなく、出力と運動性能もライガーゼロに比べて飛躍的に向上した。また、機体表面には強力なエネルギー・シールドを展開可能である。「チャージミサイル」や「AZショックカノン」といった火器も備わったことで火力も大幅に強化されているが、格闘戦を信条とするRDは四肢の「スライクレーザークロ-」や、それを応用し空中からエネルギー波を叩き込む「ダイビングレーザークロ-」で戦った。



ゾイドフューザーズ

長きにわたる戦乱が終わり、平和の訪れた惑星Zi。そこではズィーファイターたちによって日没ゾイドバトルが繰り広げられ、人々を熱狂の渦へと巻き込んでいた。ゾイド同士が合体する現象「ズィーユニゾン」の発見でゾイドバトルは新たな次元へ突入。弱小チームのマッハストームに所属するRDも、ライガーゼロとユニゾンできるズィーパートナーを探し求めるようになる。サベージハンマー所属のブレードはRDを異様に敵視しバスター・フューラーで襲撃するが、そこに割って入ったのは野生ゾイドのファイヤーフェニックスだった。RDとライガーゼロはサベージハンマーの罠からファイヤーフェニックスを救ったことでズィーパートナーとして認められ、ライガーゼロフェニックスへのユニゾンを成功させる。幾多のズィーファイターを相手に敗北を繰り返しながらもそのたび立ち上がり、精神的に成長していくRDだったが、新型ゾイド凱龍輝を手にしたブレードの猛攻でファイヤーフェニックスを失ってしまう。失意の中でライガーゼロと放浪するRDだったが、不思議な少女フェニスの導きで新たな仲間と出会いこととなる。



【オリジナル】ライガーゼロフェニックス 開発について

開発者コメント

ゾイドユーザーの生い立ちは、海外先行でアニメーションの製作が決定したこと。そのため当時の国内開発とは別に、海外ゾイド専門の開発のチームが立ち上りました。ゾイド初のエアポンプを搭載したエナジーライガー(開発ネーム:エライガー)をはじめとした新しいギミックを持ったゾイドを念頭に、当時、国内で展開していたゾイドBLOXを使用した企画や、変形・合体をテーマにした商品開発を行ってきました。フェニックスとファルコンはBLOXを使用したゾイドで、ライガーゼロのサポート用の合体ゾイドとして同時に開発がスタートしました。フェニックスは、曲線を多用し躍動感のある優雅なデザインで、特徴的な大きな前進翼は合体時、ライガーゼロフェニックスの一番の特徴として使用。前後を逆にする事で大きな変形せずに、フェニックスのイメージを払拭させ、スピードを活かしたオールラウンドで活躍できるゾイドとしてデザインしました。当初、新ギミック満載のエナジーライガーを主人公機として開発を進めておりましたが、アニメスタートのタイミングに発売スケジュールが間に合わず、ライガーゼロフェニックス、ライガーゼロファルコンのどちらかを主人公機として使用する事になり、キャラモチーフ、単体デザイン、合体時のインパクトなどを考慮した結果、ライガーゼロフェニックスに白羽の矢が立ちました。フェニックスという事でスタート時から機体色は赤、スタイリングも派手にする事で進めてきた事もあり、主人公機になってからのデザイン修正はほとんど無く現状のデザインに至りました。(青鹿 克己)

コンセプトスケッチ



A.D. 2003

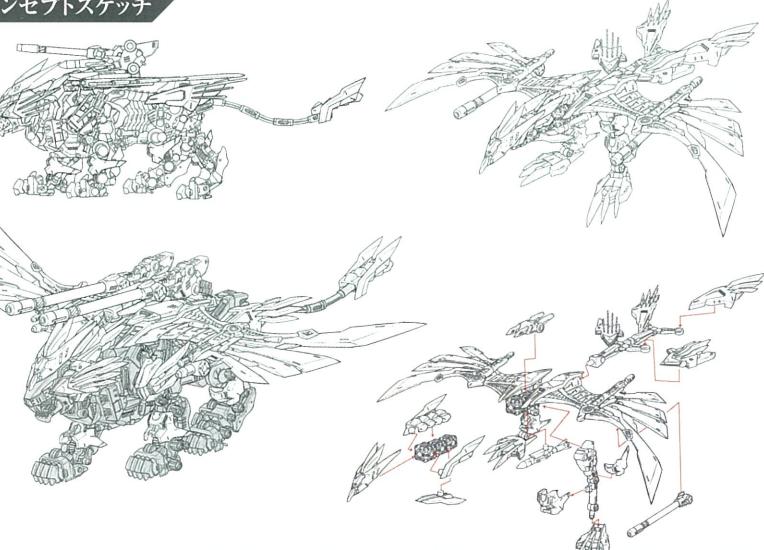


【40th ANNIVERSARY ZOIDS】ライガーゼロフェニックス 開発について

■ 海外での販売が先行だったゾイド

海外向け映像の主役機として作られたライガーゼロフェニックスは、当時の日本では放送予定が無く、ゾイドBLOXシリーズと動力ゾイドの合体する商品として販売されました。当時の共和国ゾイドは、ゾイドとBLOXを組み替えたときのカラーリングがまとまるように青やグレーで構成されていました。ライガーゼロフェニックスも、共和国カラーといえる青やグレーで構成されたカラーリングでしたが、のちに日本でのアニメ放送が決まり、アニメカラーのライガーゼロフェニックスも発売されることになりました。

コンセプトスケッチ



開発者コメント

■ 剧中再現

アニメと玩具で大きく違うのは顔の形状で、アニメでは白いゼロアーマーの上にフェニックスのアーマーが覆いかぶさります。玩具では素体の上に直接フェニックスのアーマーが着く構造となっており、顎のフィンの塗分け等が異なるため、顔周りのイメージがかなり異なりました。本製品ではアニメのカラーリングに近づけるため、アーマー形状を見直し、アニメを再現できる仕様としました。

■ デザイン

オリジナルの商品では、様々な制約から合体後のライガーゼロフェニックスのデザインには物足りなさを感じる箇所がありました。それはパーツ数の制約や、組みかえの複雑さの回避、アーマーとして使えるバーツ形状の制約などによって発生しており、今回はそれらの要素を再考してデザインしています。またフェニックスはBLOXの構造を利用して合体するように作られており、遊びやすさに影響している部分があったので、それらも見直しています。さらに今回の商品では、当時できなかった要素として翼の電動アクションを追加しました。そのために元のAZ-02ライガーゼロのギアボックスを設計から見直し、様々なサイズの翼の試作品を作って検証することで、商品ではばたきのアクションを実現できるようになりました。

■ BLOXとして

旧ライガーゼロフェニックスは、当時、国内販売の共和国カラー(青、グレー)、アニメカラー(透明)などのカラーリングは自分がまとめましたが、開発は行っていないBLOXでした。今回のフェニックスは「自分が開発していたら」を盛り込み、当時の延長として機構や規格を再考しています。(中瀬 崇嗣)



装甲を取り付ける前の「ライガーゼロ(素体)」でも各種モーター・アクションを楽しむことが可能。ここから専用の外装等を取り付けることで、ライガーゼロフェニックスは完成する。

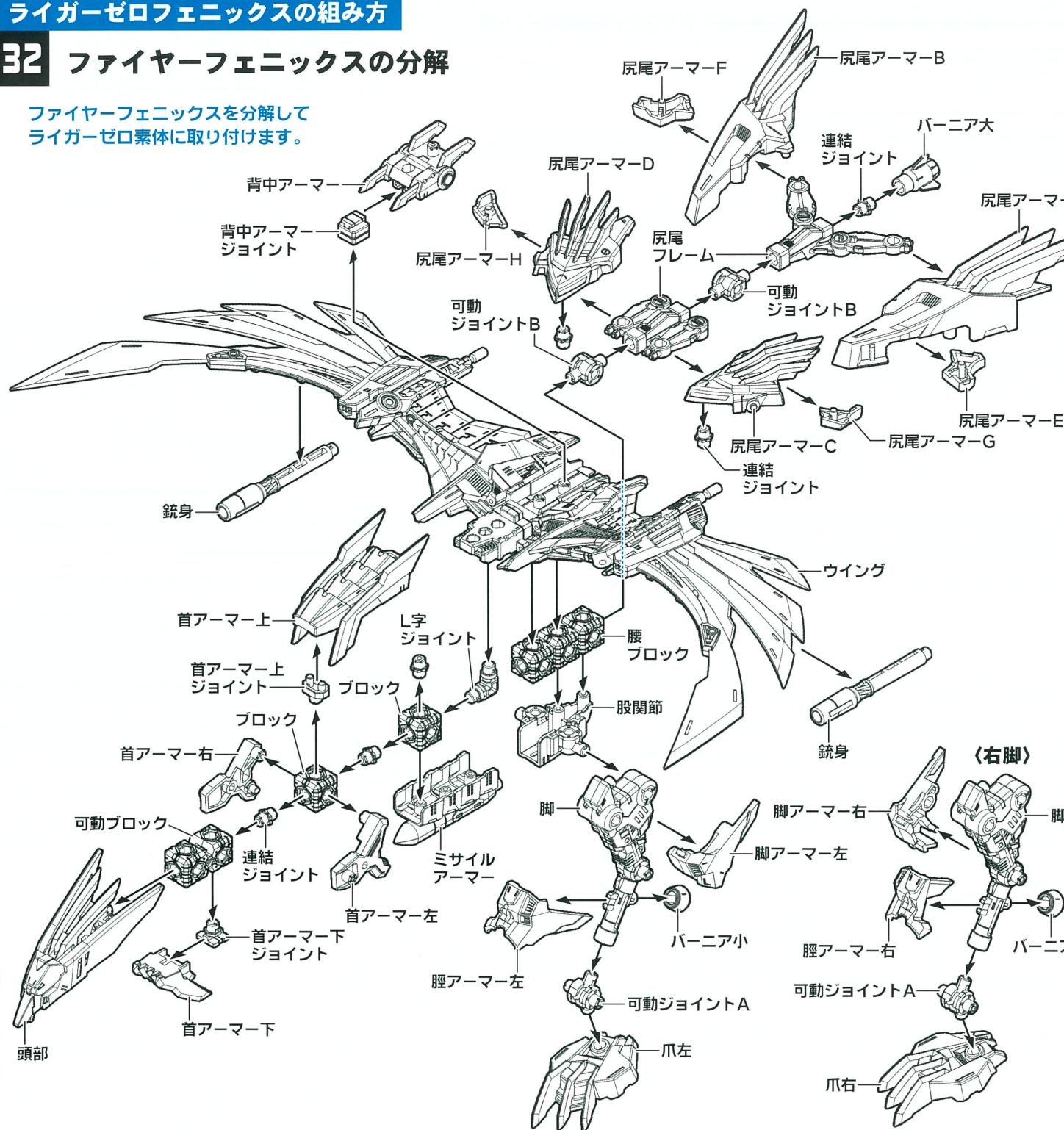
外装パーツの取り付けは
21ページより

R&D CONCEPT 開発資料

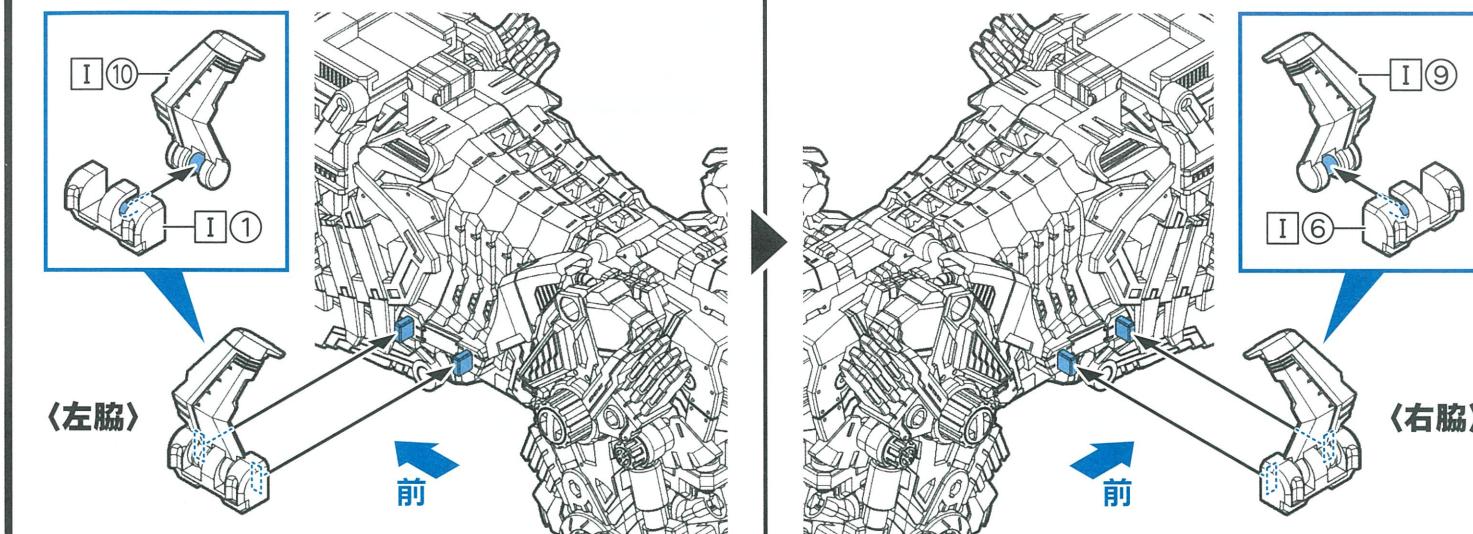
ライガーゼロフェニックスの組み方

32 ファイヤーフェニックスの分解

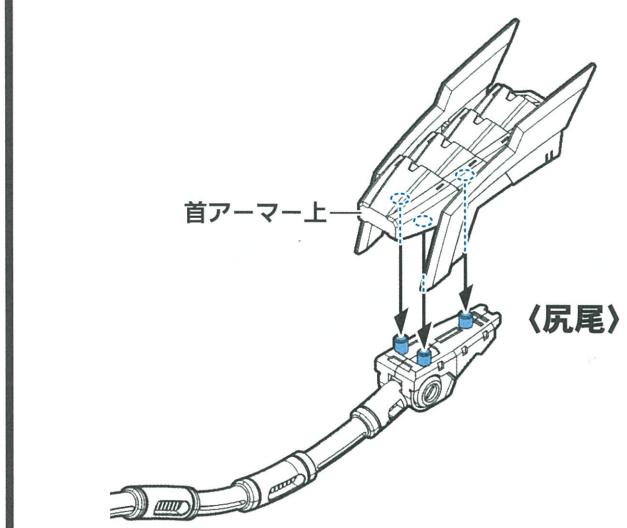
ファイヤーフェニックスを分解して
ライガーゼロ素体に取り付けます。



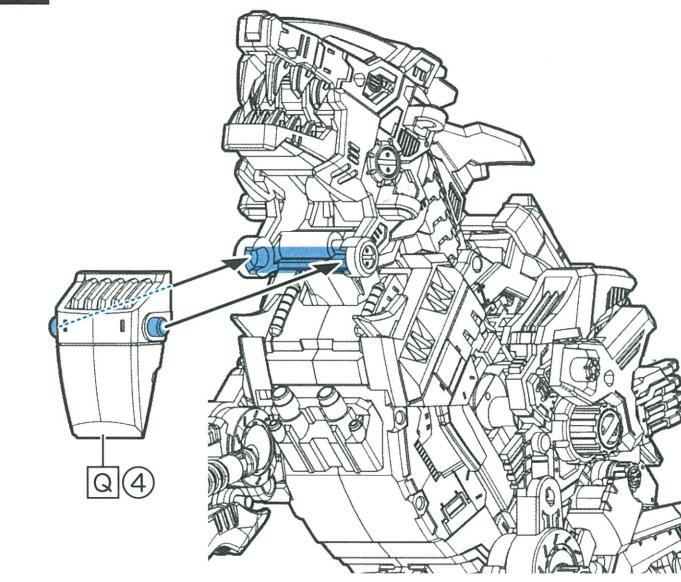
35 武器の取り付け1



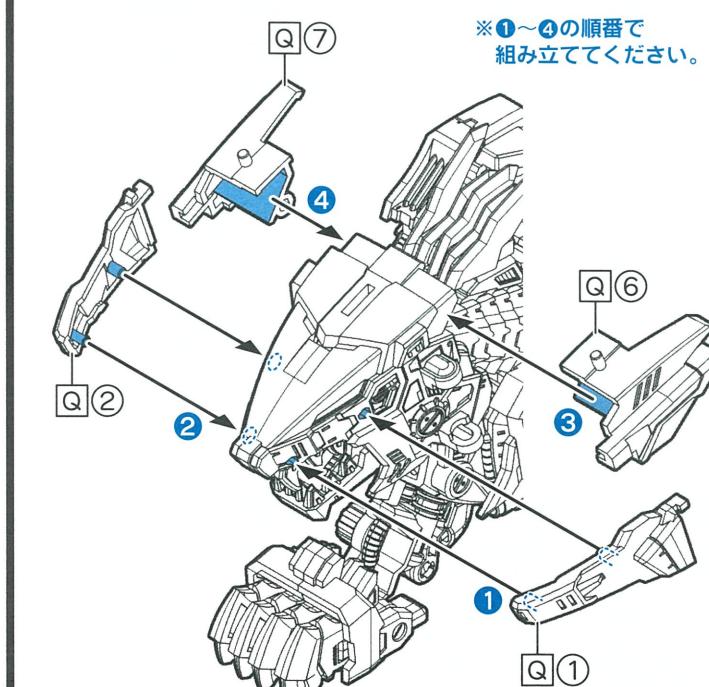
36 武器の取り付け2



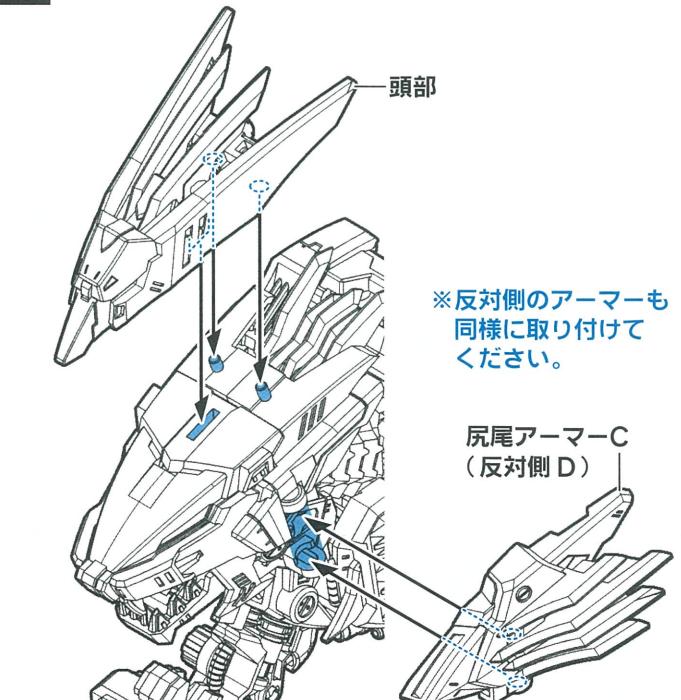
37 胸アーマーの取り付け



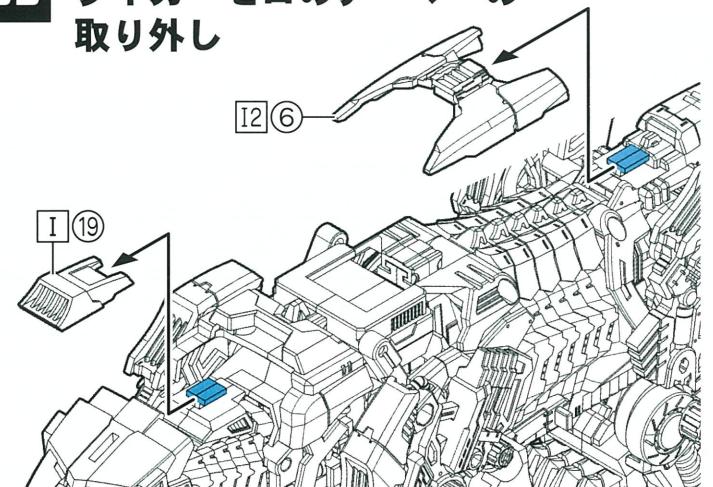
38 頭部アーマーの取り付け1



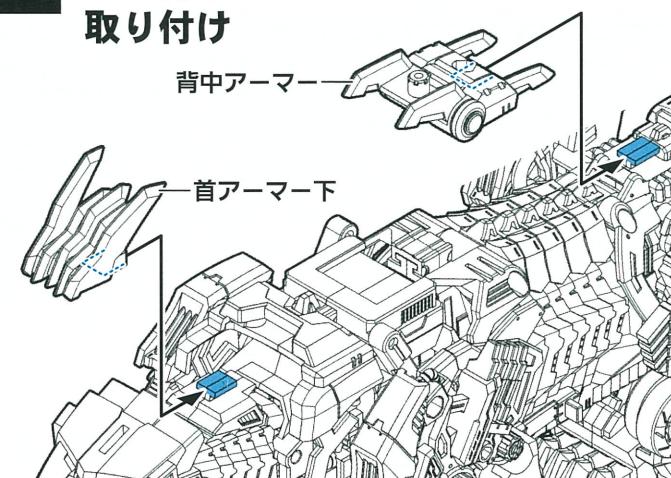
39 頭部アーマーの取り付け2



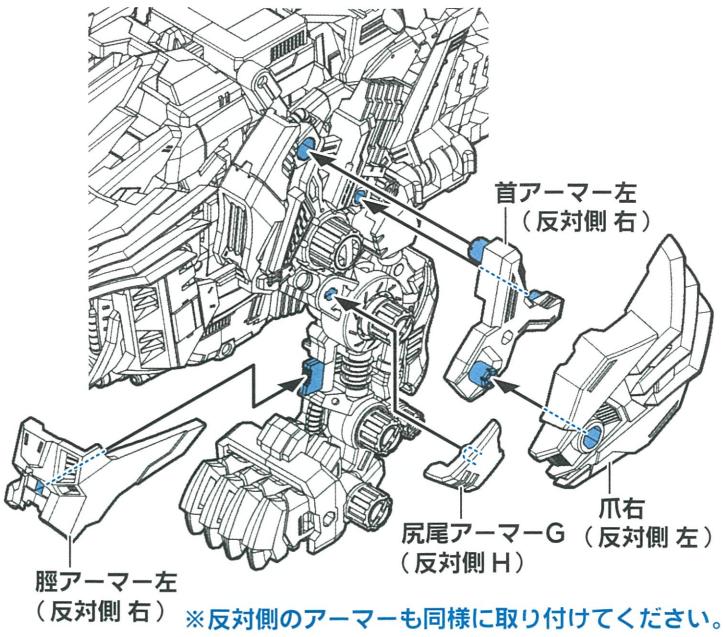
33 ライガーゼロのアーマーの取り外し



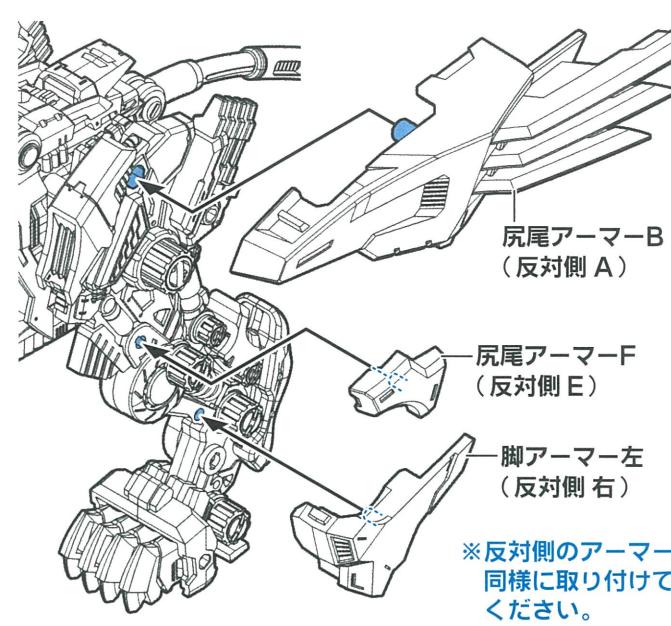
34 首・背中アーマーの取り付け



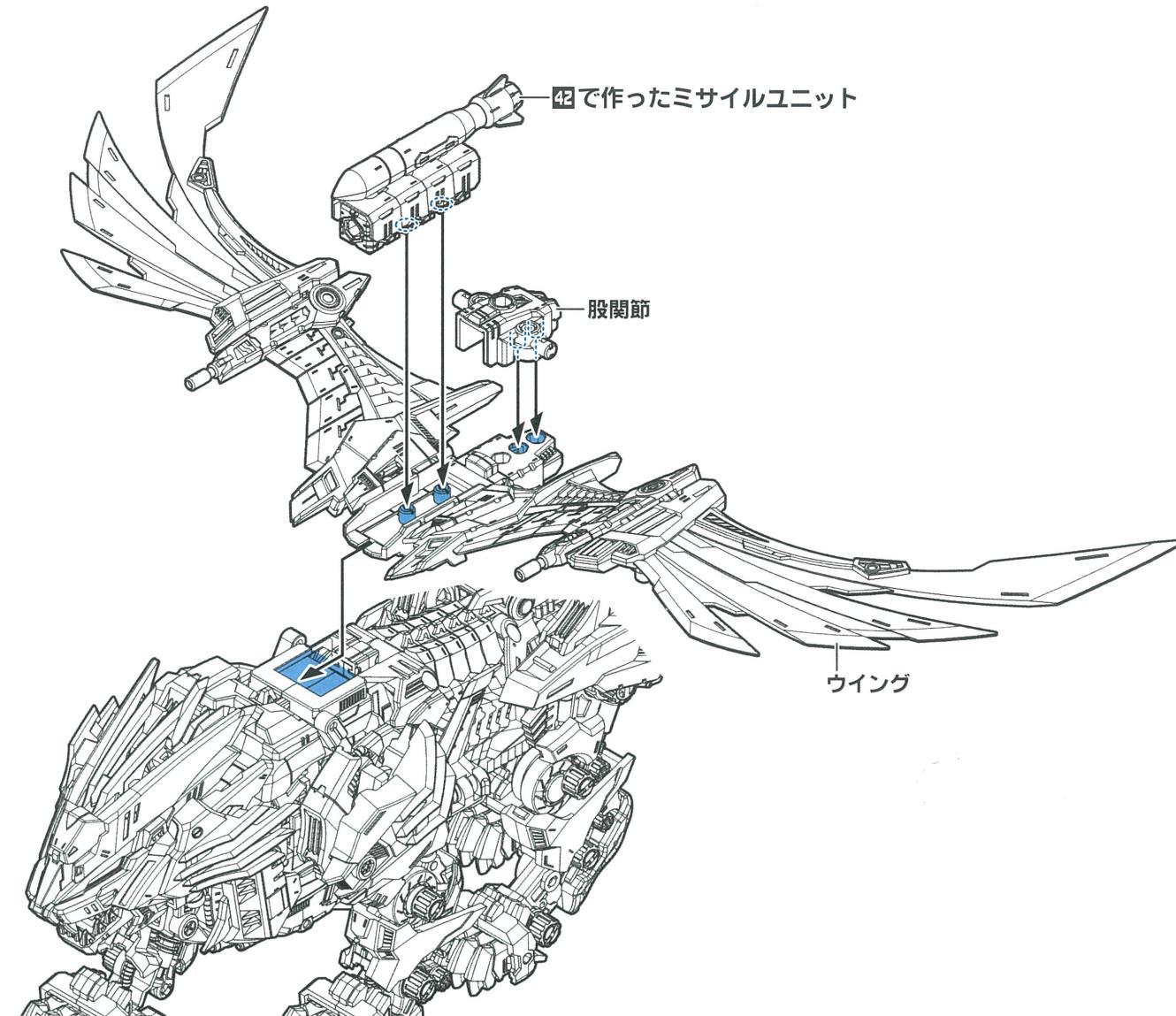
40 前脚アーマーの取り付け



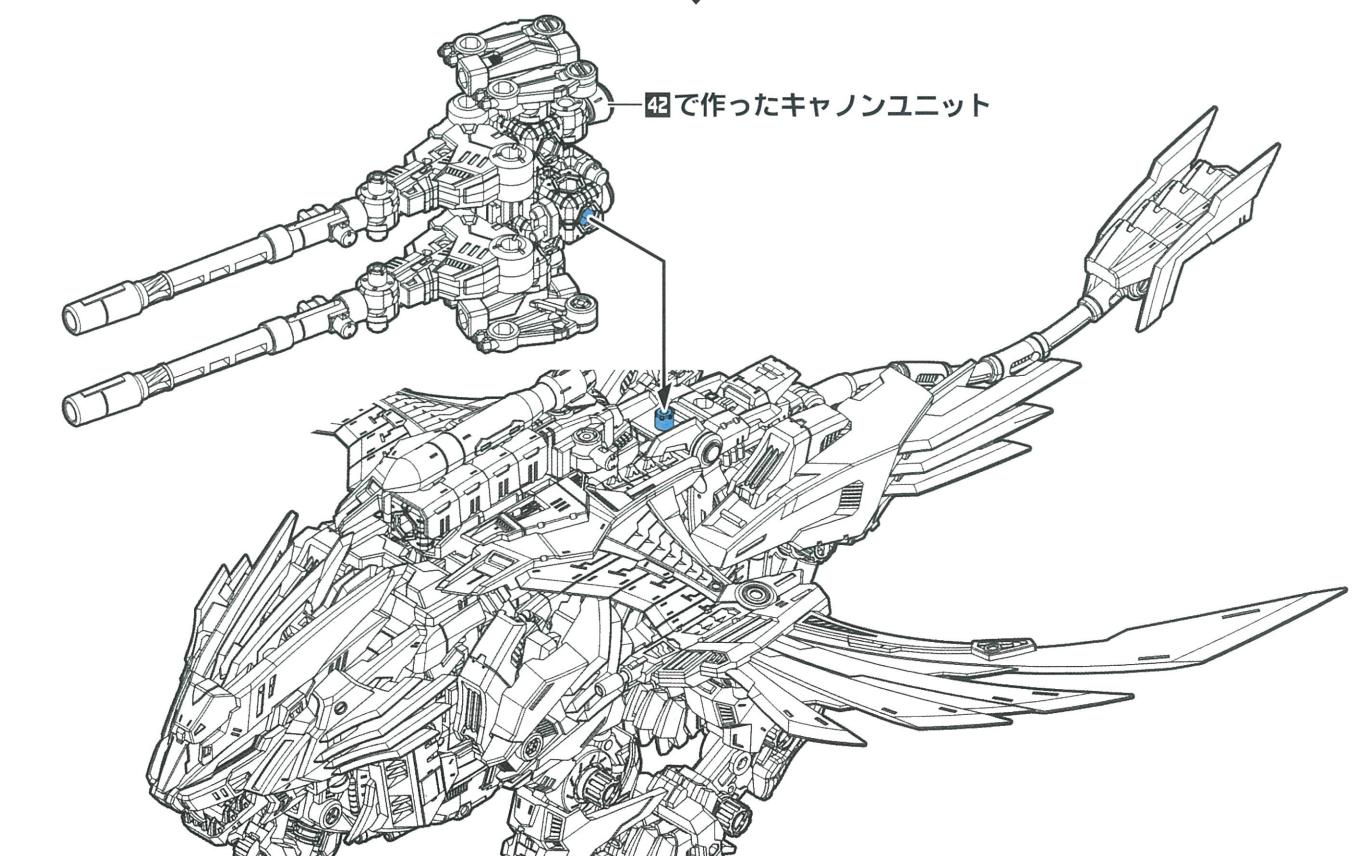
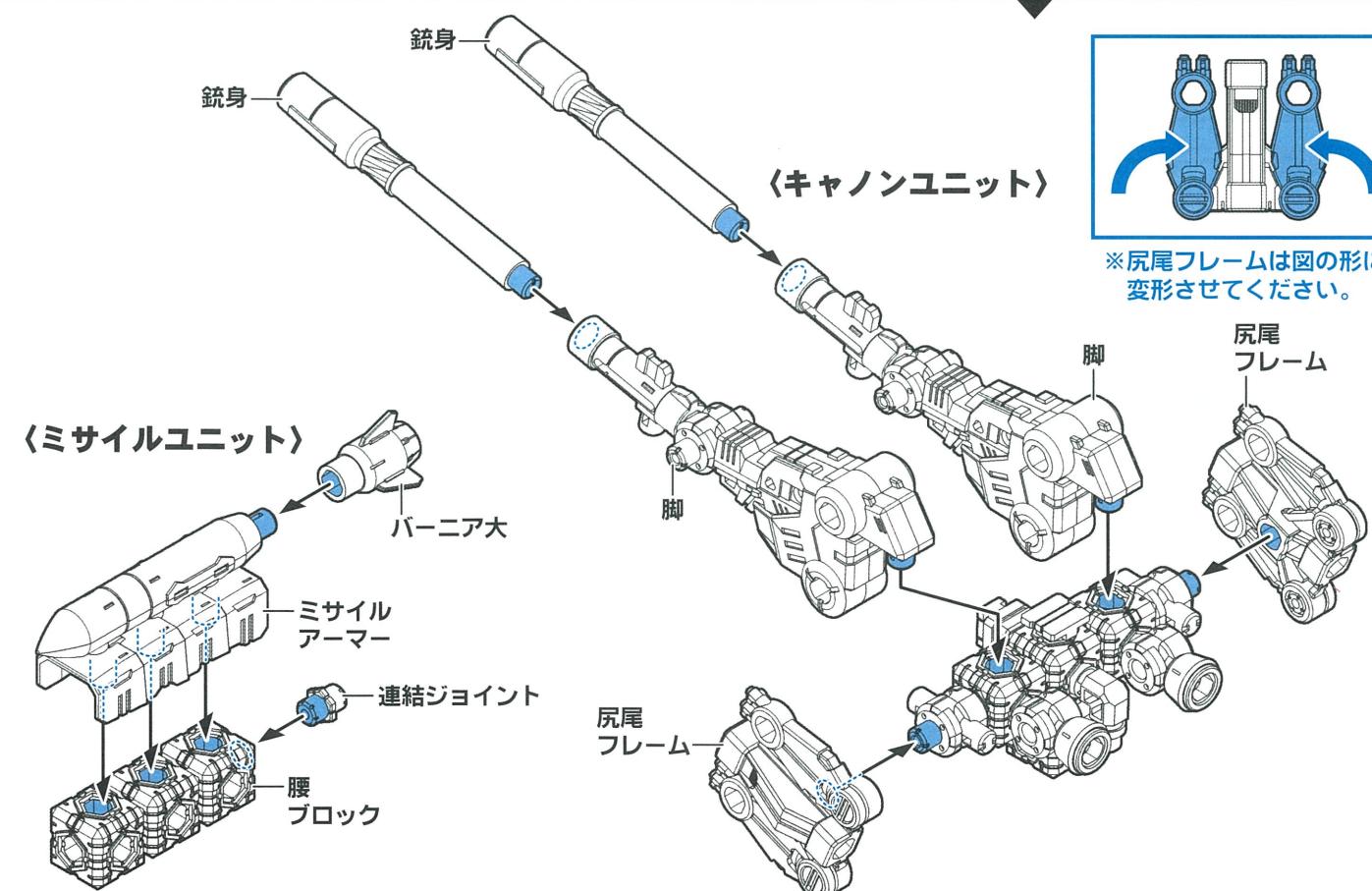
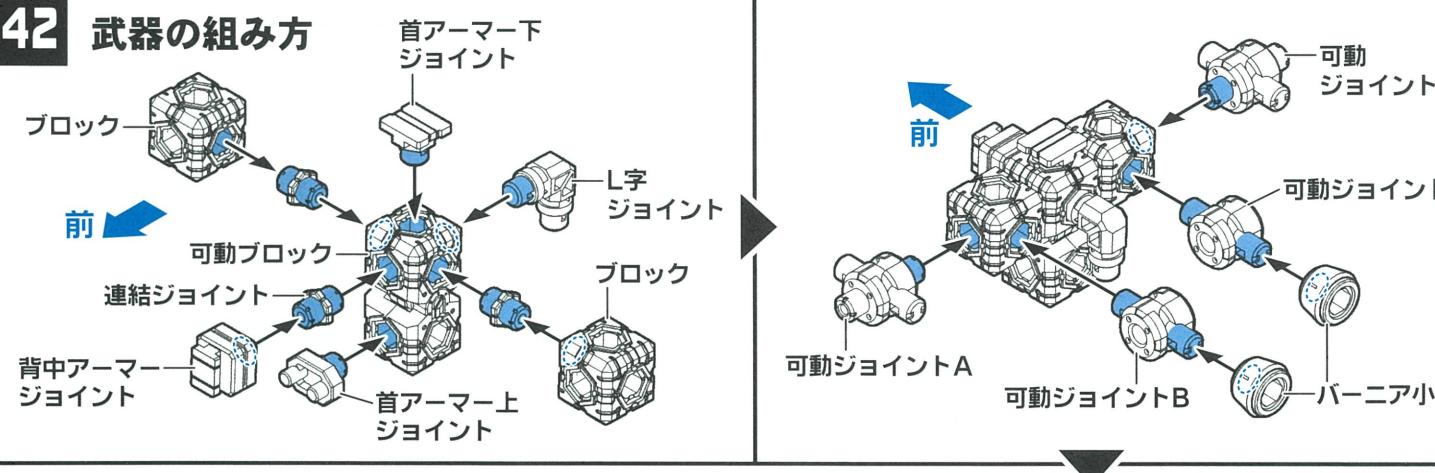
41 後脚アーマーの取り付け



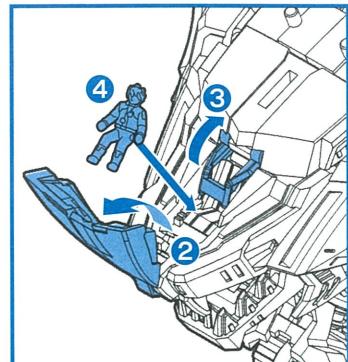
43 ウイング・武器の取り付け



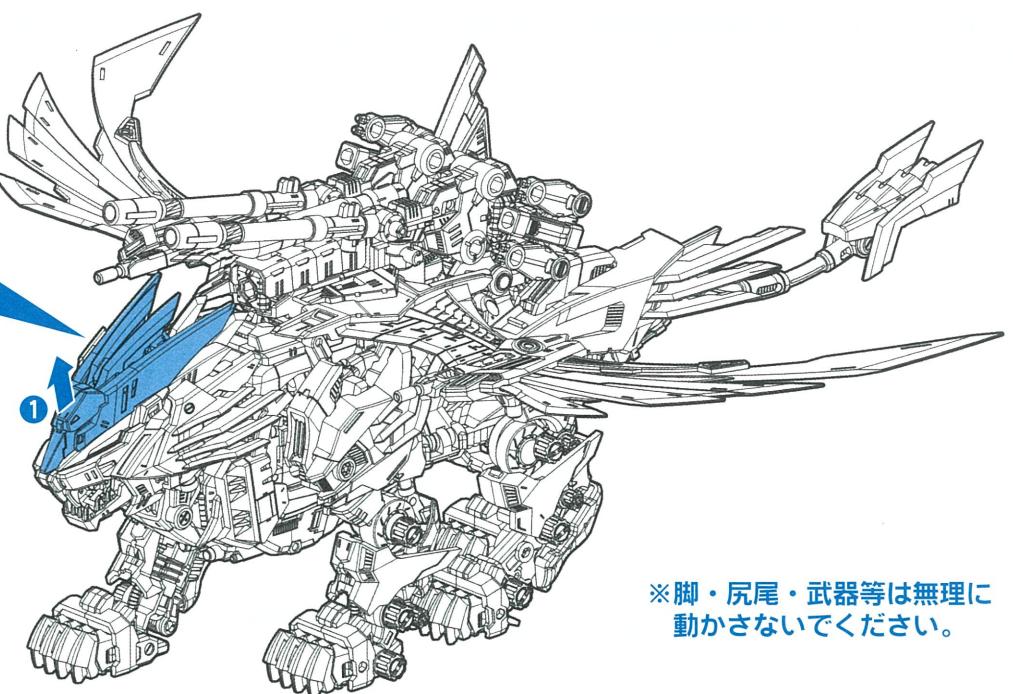
42 武器の組み方



パイロットの乗せ方

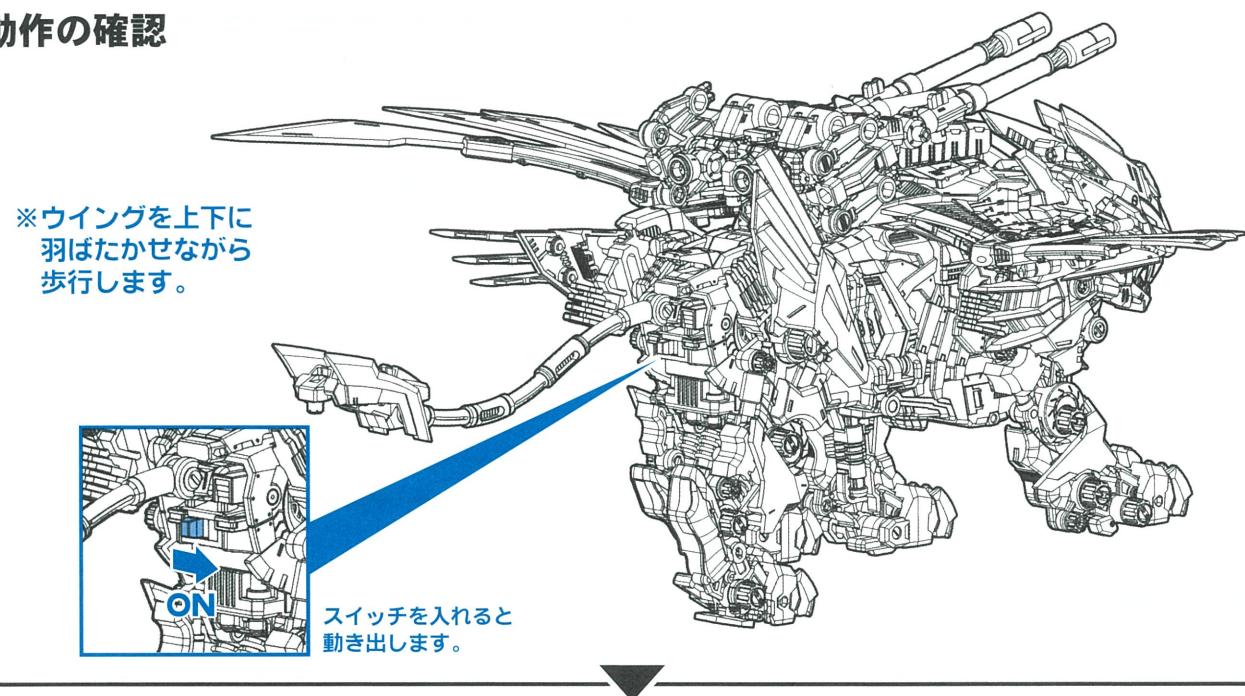


①頭部アーマーを外します。
②キャノピーを開きます。
③セーフティーバーを起こします。
※図の順で乗せてください。
破損する場合があります。



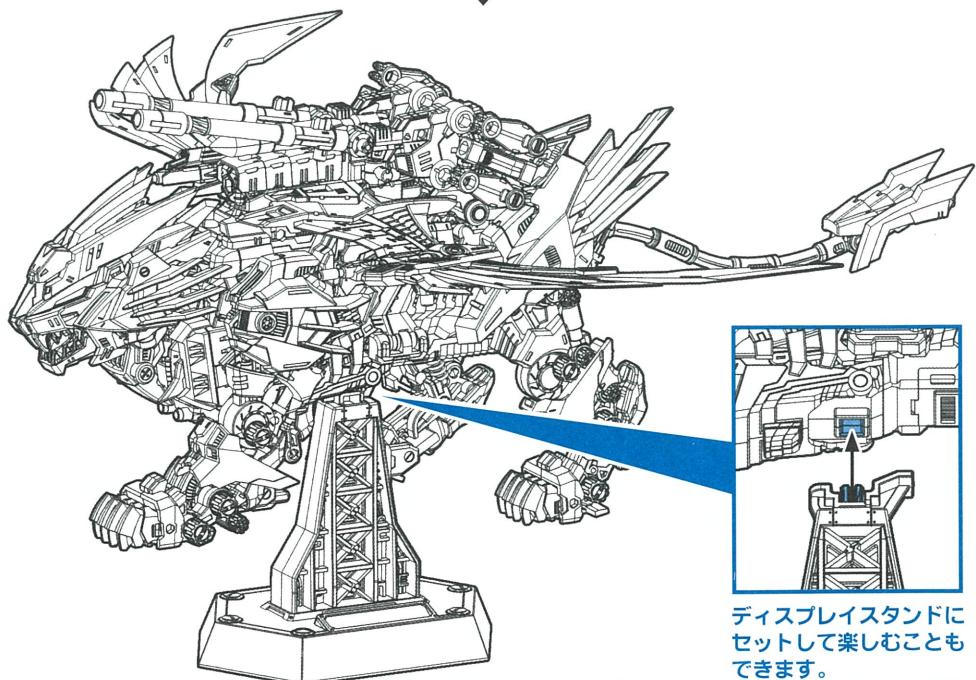
※脚・尻尾・武器等は無理に動かさないでください。
破損する場合があります。

武器、アーマーの可動



※ウイングを上下に羽ばたかせながら歩行します。

スイッチを入れると動き出します。



ディスプレイスタンドにセットして楽しむこともできます。

ラベルの貼り方

写真を参考にお好きな箇所にお貼りください。

